



'85ヨーロッパモデルFZ750に搭載して

**5バルブ/前傾・低重心
新型エンジン発表!**

チャンピオンに輝くヤマハライダーたち

YAMAHA CHAMPS



特報

85年ヨーロッパモデルFZ750に搭載して

前傾・低重心 新型エンジン発表！ 5バルブ

9月20日から5日間にわたり、西ドイツのケルン市で開かれたFMAショーにおいてヤマハは、画期的な新型4サイクルエンジンを搭載した「FZ750」を発表、大きな反響を呼びおこしています。

この「FZ750」に投入した最新鋭のヤマハ4サイクル技術は、まったく新しい発想のもとに開発した前傾・低重心エンジンシステムと世界にも例のない5バルブ機構、4サイクル・スーパースポーツに飛躍的なパフォーマンスアップをもたらす、ふたつの先進技術をここに紹介しましょう。

なお、今回のFMAショーでは、この「FZ750」をはじめXJ900、XT350、DT80LC、ベルーガ125など全11機種種の85年ヨーロッパモデルを発表しました。

トータルパフォーマンス向上に直結する 前傾・低重心・新型エンジン

「FZ750」は、走る、曲がる、止まるという走りの3要素を徹底的に追求して、これまでになくハイレベルなトータルパフォーマンスを実現したヤマハ4サイクル・スーパースポーツの新しい頂点モデルです。

特にエンジンは、1コンポーネントとして単純にパワーを追い求めるのではなく、マシントータルとして理想的な形態を追求。その結果パワーユニットの構成そのものが高性能化に直結する「前傾・低重心」の新型エンジンを開発、採用したのです。

ヤマハの4サイクルとしては第4世代に当るこのニューエンジンは、コンパクトな水冷並列4気筒を45度前傾させ、これにフェユエルタンク前半部に配した大容量エアクリナーからダウンドラフトキャブを通じてストレー

トに吸気するもので、これによりパワーアップと走行性能アップの両面

でつぎのような数かずのメリットを生み出しています。

①前傾・低重心・新型エンジン3つの特徴

▼主にパワーアップの面で――

① シリン

ダーの前傾によりストレートなダウンドラフト

吸気となり吸気効率が向上する

② 排気系もエキパイの曲がりも少なく、排気効率が向上する。

③ 前傾シリンダーによって、エキパイのクロスレイアウトも容易になり、排気干渉の少ないエキゾーストシステムが組み、出力アップが図れる。

④ 大容量エアクリナーのスペース確保が容易になり出力アップが図れる。

▼ 走行性能アップの面で――





吸気効率、燃焼効率をアップして 高性能化と燃費低減を二挙に実現した5バルブ

- ① シリンダーの前傾で重心位置が低下し、走行安定性が向上する。
- ② 前傾シリンダーによって前輪荷重が高まり、スパーパーツとして理想的な前後均等の荷重配分が実現。操縦性、走行安定性の向上が図れる。
- ③ シートの下に、吸気系がないことからスリムなレッグスペースとなり、足つき性やニードグリップ性が高まり、乗りやすさ、乗車感が向上する。

対条件となります。

『FZ750』の前傾・低重心新型エンジンに投入したもうひとつの革新技術、それが、5バルブ。高性能と低燃費という相反する性能を同時に実現し、かつ軽量、コンパクト、高信頼性などの必要条件をすべて満足させるものとして、4年間にわたる研究の結果、開発に成功した画期的なエンジン技術です。

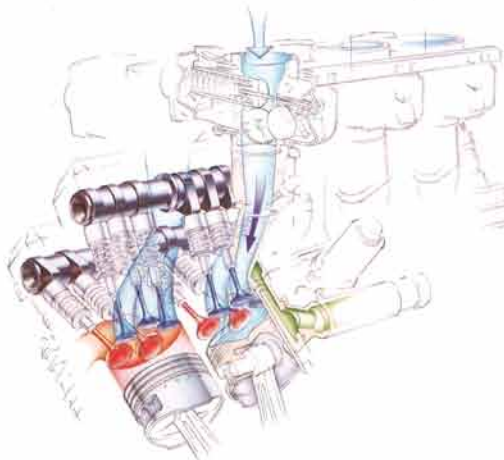
しかし、吸入空気量の増大ひとつをとっても、4バルブでこれを行えば個々のバルブの大径化が必要となり、必然的に燃焼室形状の扁平化を招いて燃焼効率を悪化させるので大径化にも限度がある、というように多くの難問が存在していました。

5バルブエンジンの特徴

- ① 高出力…4バルブエンジンに比べ出力が約10%向上（ヤマハ実験値）
- ② 低燃費…4バルブエンジンに比べ燃費が約5%向上（ヤマハ実験値）
- ③ 軽量・コンパクト…独自のバルブレイアウトによりシリンダーヘッドまわり

4サイクル

エンジンの高出力化と低燃費化を同時に確保するためには、吸入空気量の増大、燃焼効率の向上、ロス馬力の低減が絶



は軽量・コンパクト

- ④ フレキシブル…幅広い回転域でパワー、トルクとも向上
- ⑤ 高信頼性・汎用性…エンジン本体の改良による高性能化のため、信頼性、汎用性ともに優れている

FZ750の5バルブエンジンの特徴

さて、『FZ750』に採用した5バルブエンジンの特徴は、右ページの図のように巧みに配置された5本の吸排気バルブによって形成されるコンパクトな燃焼室とそのバルブレイアウトにあります。

- ① バルブは吸気側3本、排気側2本。3本の吸気バルブによる有効吸気バルブ面積は、4バルブに比べ約14%アップ（当社比）し、吸入空気量を増大させています。
- ② また、バルブ狭み角を極限まで小さくし、5本のバルブをシリンダーボア内に合理的に配置したことによって、ほぼフラットなピストンヘッドを持つコンパクトな燃焼室を、高圧縮比を維持したまま形成。きわめて効率の良い燃焼を実現しました。
- ③ 吸気バルブは1本21g、排気バルブも1本25gという軽さ。従来の4バルブとは異なり吸気バルブが排気バルブよりも傘後、重量ともに小さくなっていることで一層高回転化が可能になり、パワーバンドも広がっています。
- ④ もちろん、合計20個のバルブはダイレクトリフターによってカムシャフトで直接駆動されるもので、高回転域でも正確な作動が得られ、低回転から高回転まで安定した性能が確保されていることはいまでもありません。

雪、近し。

スノーモビル、除雪機、赤外線ヒーター
 ヤマハならではの冬期商品でバイクのオフシーズンも
 お客さまと親密なおつきあいを。

'85ヤマハスノーモビル・ラインアップ

BR250

ビギナーに最適な、
 オフロードの入門車
 (18馬力)



ET340

軽快、俊敏。オール
 ランドなスノーラン
 ナー (32馬力)



ET340T

タンDEMもOK、ス
 ノートランスポー
 ター (30馬力)



SS440

ダイナミックな雪
 のスーパースポ
 ツ (51馬力)



NEW PZ480

アメリカ、カナダ
 でも人気No.1の実
 力車 (53馬力)



NEW EC540J

信頼性ビーカーのS
 540のオフロード
 タイプ (34PS)



※ここにご紹介した6機種は、いずれもオフロード専用車ですので、公道走行はできません。公道走行用認定車としてはS250、S340、S540の3機種があります。

'85ヤマハ除雪機ラインアップ



YSM-555

30分で100m² (約20cm積雪) 除雪。
 らくらく操作の実力派 (5.5馬力)



YT-665

寒冷地仕様の4サ
 イクルで、パワフ
 ル除雪の本格派
 (6.5馬力)



YT-1090

クラス最軽量で、強力10馬
 力。コストパフォーマンス
 もNo.1 (10馬力)

ヤマハ赤外線ヒーター



YH170

小さなボディで、大き
 な熱量。安全、経済的
 なコンパクト熱源



YH340

屋外でも抜群の威力
 を発揮する高出力熱
 源。ハイ、ロー2段
 切換え式

※各商品についてさらに詳しくは、特機担当セールスにどうぞ



YAMAHA

みごとチャンピオンに輝いたヒーローたち。
すでに'85年モデルに投入されています

CHAMPS

サイドカークラス

3・シュナイダー組

に搭載して、最高にスリリングな走りを見せるサイドカーレース。今年のウィナーは、であった。



世界選手権ロードレースシリーズ500ccクラス

エディ・ローソン/YZR500

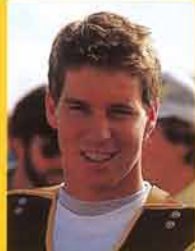
2年目のチャレンジで「世界一速い男」の座についたローソン。全12戦のシリーズを、優勝4回、2位4回、3位1回、4位2回というみごとな成績でカバーし、ヤマハライダーとしては4年ぶり、5度目のワールドチャンピオンとなった。中でも、ノンリタイア、4位以下なしという安定した力とVフォー・YZR500の信頼性の高さに、いま驚異の目が集まっている。



AMAナショナル250ccモトクロスシリーズ

リック・ジョンソン YZ250

全10戦、20ヒートのシリーズ戦中じつに10ヒートの優勝をさらってチャンピオンに輝いたリック・ジョンソン。しかも、最激戦区でのこの勝利が、市販モトクロスカーYZ250によるものあって、全米ファンの賞讃もひととき高まっている。





世界選手権ロードレースシリーズ250ccクラス

クリスチャン・サロン TZR250

1戦ごとにウィナーの入れかわる大激戦の250ccクラスを制したのは、8年目のベテランC・サロン。フランス・ソノートヤマハチューンのTZR250と最高のコンビネーションをみせて、念願の初タイトルを獲得した。



ローソン、スト
レウアー、サロ
ン、シュナイダ
ー(左から)……
'84ヤマハ・チャ
ンプたち



全日本選手権ロードレースシリーズ 国際A級500ccクラス

平 忠彦/YZR500

第2戦から5戦までの4連勝、第8戦から10戦までの3連勝と、再度の連続勝利で最終戦を待たずにV2を決定した平忠彦とYZR500。デイトナ200マイルや世界GPでも上位入賞を果し、*世界のタイラ。へど一大飛躍の年でもあった。



YAMAHA

今シーズン、ヤマハを駆って
彼らの成果のいくつかは、

世界選手権ロードレースシリーズ サ

E・ストレウアー/E

TZR250のパワーユニットをさまざまなフレ
ーストレウアー/シュナイダーのオランダベア



特集 汗を流して遊びを売るのじつ!

思う存分走りを楽しむ場所や機会が欲しい、スピード以外にもいろいろなバイクの楽しみ方を知りたい——なんて欲求不満のお客さまが増えていませんか?
そう、そんなお客さまに夢や遊びを提供することこそ、いま

お店に最も求められている活動なのです。さわやかな汗をかきながらお客さまに遊びを売る、ヨソのお店ではどんなふうにならぬ実践されているのでしょうか。先月にひきつづいて、遊びの提供・パートII・実例編をお届けしましょう——



奥さまの下見によって途中の道路状況まで刻明に記入されたルートマップ



↑この7月に行なった「ファミリーツーリング・イン・高尾」には16才から60才以上まで40名が参加

→山上輪業さんのオールスタッフ。中央が山上社長と奥さま・貴代子さん

●スクーターツーリング

「遊び」の提供は、なにもオンロードやオフロードなどスポーツバイクに限ったことではありません。スクーターの世界でもジョグやチャンプなど走りを楽しむスクーターの登場とともに、スクーターツーリングやスクーターレースなど、さまざまな活動が展開されています。

内気なスクーターユーザーに走る楽しさと自信を与える「ファミリーツーリング」

「スクーターの使い方って実生活の足だけ。なんとかもう少し走りを楽しむ方法ってないのかしら……」という奥さまの発案で、4年前からスクーターを中心とした原付だけのファミリーツーリングを実施しているのは神奈川県川崎市の上野輪業（山上英治社長）さん。いまや山上輪業さんにとって欠かせない催事となっている、このファミリーツーリング開催のキッカケを奥さま・貴代子さんはつぎのように話しています。

「特に女性のスクーターユーザーは、せっかく苦労して原付免許をとってスクーターを買っても乗るのは生活圏の中だけ。中には一度こわい目に会ったからって、そのままスクーターも物置へなんて人もいますね。そんな奥さま方にもう一度スクーターで走る楽しさを見直して欲しい、スクーターに馴れて欲しいと思って始めたんです。年1回ですけど地道に続けて4年、今年あたりやっと成果が見えてきたようですね」

今年7月に「ファミリーツーリング・イン・高尾」と銘打って川崎から高尾山まで、往復約85キロの日帰りツーリングを開催。16才のヤングから60代のご婦人まで40名が参加しましたが、お客さまの反響も上々です。

このファミリーツーリングの実施に当たって貴代子さんが最も気をつけているのは「安全」。「全員に保険に入っていたら、出発前には必ず点検整備もやります。またサービスマン、安全運転指導員、それにお医者さんまで同行してもらい、トラックも同行します」こうした奥さま貴代子さんの地道な努力が着実に実り、その成果はご商売のさまざまな場面に表われています。

「もともと商売とは一歩離れたところで発想したイベントなので、販売への成果というのはそれ程期待していませんが、それでもツーリングが近づくにつれて点検に見えるお客さまやウェアや用品を買いに来るお客さままで店が結構もり上がりますね。それに当日は、私も新車のスクーターを降ろして行くんです。今年はチャンプで行きましたけど、こうしたスクーターはすぐに引き合いがあります。やはり、実際の走りを見せるといっては、絶好のPRになるんでしょうね」

でも、やはりこのツーリングはスクーターの走りの楽しさを知ってもらうのが第1です。お客さまとの地道なつながりで、スクーターがますます深く静かに普及していくことを望んでいます」



← 参加した25名のお客さまは、全員「マンゾク」次回の話題がもう飛び出している

↓ 九十九里でお客さまたちは、珍しい地引き網も体験



左から山崎さん、松浦専務、本多さん。それぞれ「もとじえんぬ」「シニアクラブ」「友輪会」の世話役を担当している

女性だけのツーリングクラブ「もとじえんぬ」のみなさんは、月1回のツーリングを定例化。9月はヤマハマリナー浜名湖へ



● ツーリング

さて、次はオートバイの遊びのチャンピオン、ツーリングを考えてみましょう。この8月ヤマハ発動機宣伝課が東・名・阪の販売店さんを対象に実施した調査でも、30%以上のお店が「ツーリングクラブの活動が商売の底辺を支えている」と答え、「お客さまとのコミュニケーションをもっと深めるために来年もより一層充実させていきたい」と述べています。

これからはイエスの活動を利用して 自店ツーリングの充実をはかりたい!

「ツーリングの楽しささえ知らないスポーツバイクユーザーって結構多いんですよ」と開口一番、遊びの提供の重要性を力説するのはYSP目白(東京都中野区)の森永弘三店長。「ヤマハでもこの秋からYES・S・イエスが新たに発足してこれまでに活発なモータースポーツ・レジャーの活動を行なっていくわけですが、私も大賛成。早々と加盟店になっていきますし、イエスの活動を店の活動と連動させていきたいですね」

とおっしゃるように、9月8・9日の2日間、ヤマハ東京圏が主催し、首都圏の約180名のお客さまが参加したツーリング、ヤマハ・バイクビレッジ・イン・九十九里にも森永店長みずから16名のお客さまをご案内して参加。ツーリングに加えて地引き網、花火大会、宝さがし、抽せん会などたくさんメニューを満喫してお客さまの好評を呼んでいました。

女性、一般、アダルト……

メンバー別にツーリングクラブも細分化

このようにツーリングとひとりで言ってもその内容も最近では千差万別。まして参加する人数が増え、層も広がればそれだけお客さまの要望も多岐に渡ってきます。そんな傾向への対応としてエルドラド(静岡県袋井市・友田和夫社長)さんが採用したのは、一般、アダルト、女性とお客さま別にツーリングクラブの活動を分化させたことです。

「最初は『友輪会』というひとつのクラブだったんですが、いつしか35才以上の人が固まって『シニアクラブ』を、また昨年から女性だけで『もとじえんぬ』を自然に分化していったんです。各クラブとも20名前後、いまでは全く別個に活動していますけど、み

なさんの方が気がねもなくていいんですよ。もちろん、年に1・2度は3クラブ合同のバーベキューツーリングなどやって、交流を図っていますけれどもね」と語るのは松浦専務。

クラブ運営はすべてお客さまの自主性によるもの、連絡場所としてお店を利用してもらうというのがエルドラドさんの方針ですが、『シニアクラブ』は松浦専務、「友輪会」はサード・ビスの本多孝さん、「もとじえんぬ」は女性同志で事務の山崎由子さんと、お店側の担当者も設置し、事務一切を引受けて、一層緊密なお客さまとのコミュニケーションをつくりあげています。

● サークिटリッピン

RZやFZなどレーシーなスポーツバイクの登場によって、お客さまのニーズも一気に頂点に達しているのがサーキットラン。YRSサーキットランコースや各サーキットのスポーツ走行の状況ぶりからもお客さまのフィーバーぶ



↑ゼッケン117が、「ヨコハマ・マリーナ・レーシング」からエントリーのお客さま。(フィスコで)

←完全に江崎選手になりきって、SUGOで愛車FZ400Rを走らせる

→「ヤマハ・バイクビレッジ・イン・九十九里」の記念写真を前にお客さまとの話もはさむYSP目白さん(右が森永店長)



りが容易に想像できますが、では各地の販売店さんどのようにしてお客さまの要求に添えているのでしょうか。

遊びの提供からお客さまの固定化まで 一石三鳥のサーキット走行会

茨城県石岡市のサイクルプラザ・タカハシ(高橋真一社長)さんでは、8月27日、スपोर्टランドSUGOロードコースで今年2回目のサーキット走行会を開催しました。これは、6月にSUGOで開いた1回目の反響が、あまりにも大きかったために新しいお客さまを交えて再度開催することになったものです。ちょうど前日のスポートランドSUGOでは全日本選手権ロードレースの第9戦が行なわれましたので、石岡市からSUGOまで約400キロのツーリングを実施。SUGOでは平選手らトップライダーの走りを見学してモータースポーツへの理解を深め、そして翌日はお客さまそれぞれのバイクで、スポート走行を楽しんでもらおうという、じつに一石三鳥のビッグ企画となりました。

スポーツバイクユーザーは みんなレースに関心を持っている!

こうしたサーキット走行会をさらに進めて手軽なプロダクションレースやTTIIIレースにまで活動の幅を広げているお店も少なくはありません。「うちはモータースポーツを通じてスポーツバイクを拡販する」と明言する横浜市港北区のYSP市ヶ尾・バイクマリーナさんもまさにそんなお店の代表です。「スポーツバイクに乗っている人って大なり小なりモータースポーツに関心を持ち、自分も参加したいと思ってる人じゃないでしょうか」と語るのは水谷和優店長。

「でも本格的なロードレースは、お金もかかるし、自分のレベルで楽しめないからどうしてもあきらめてしまっていた。そこで、うちでは、お客さんのレベルで楽しめるようにと2

果を高橋社長は次のように話してくれました。「あの店はこんな活動までしているんだ、ということがお客さまの間にひろがって、有形無形じつに大きな効果がありますね。お客さまの安全意識が高まるとか公道走行でも余裕が生まれるとかいう安全普及面のことからお客さまのウェアや装備に関する関心が高まって、用品販売が活発になるといった販売上のことまでね。販売上といえば、こうした活動は完全なアフター面のユーザーサービスと考えられがちですが決してそんなことはありません。このサーキット走行会に参加したいからといって、今年1年はスクーターで我慢するといっていたお客さまが中型バイクを買ったり、今度は絶対大型二輪で参加するんだ、というステップアップ希望者も増えてますからね。またこの走行会を一度開くと、帰ってきてからもお客さま同士のコミュニケーションが深まることや、お客さまからお客さまへと想像できないほど良い噂が広がっていくことも見逃せませんね」

年ほど前から「ヨコハママリーナレーシング」というクラブを結成。フィスコのプロダクションレース・ミドルクラスにRZ350で参加しているんです。

こうした活動は、単なるお客さまサービスではないというのも前の高橋さんと全く同じ。お店の個性を浮彫りにして他店との差別化を進めるばかりでなく、サービス技術の高さをアピールして自然にお客さまの信頼があつまる、といえます。

「去年はサービス部門だけで前年の3倍にも伸びていますし、またRZやFZなどレーシングモデルの売上げも快調。来年は活動をさらに広げてスズカの4時間耐久にもチャレンジしたい」と水谷店長の声も弾んでいます。



↑この6月、日光にツーリングした時のスナップ。「数人で行くのは毎週、クラブ全員では年に3回程度です」

→クラブの会長・田中 勇さん(右)と次のツーリングプランを話しあう須田社長



←早朝5時からゼッケンを胸にトライアルに励むお客さまたち。30才前後のサラリーマンの方が多い

↓大型ダンブ30台分の土を入れて使った130坪のハイルグサイクル・トライアルパークでは、今日もお客さんが自由に楽しんで



●林道ツーリング

ツーリングやサーキットランなどオンロードの遊び以上に、お客さまへの提供がむづかしいのがオフロードの遊び。しかしこれも、場所さえ確保でき、より深く取り組んでいけば、オンロードにはない多彩な遊びのメニューが創り出せる可能性を秘めているようです。

雪にはTY!

オフシーズンなしで楽しむ林道ツーリング

そんなオフロードの遊びの中でも、やはり取りつきやすくてナンパワンは林道ツーリングでしょう。地域周辺には林道がいっぱいという、うらやましい環境の中で活発な活動を展開する群馬県渋川市のライダーズサロンスタ・須田信行社長にお話をうかがいました。

「うちのお客さまはみんな20代以上。以前はモトクロスをやっていたんですけど、モトクロスだとハードすぎて翌日の仕事にさしつかえるからと3人が林道ツーリングに変わったんです。そうしたらマイベイスで楽しめるのがいいからって、今じゃ仲間が15名にも増えています」

ツーリングはお客さまの自発的な活動。須田社長も同好の仲間として参加されています。

「林道ツーリングを始めて2、3年になりましたが、同じ趣味の仲間がいるからというのでお客さまも店に根づいてくれる。また紹介販売も広がっていきます。そしてもちろん、交通安全にもね。クラブ員は全員、無事故・無違反ですよ」

さらにスグさんの林道ツーリングのユニー

●トライアル&モトクロス

トライアルやモトクロスなど奥の深いオフロードの楽しさを広ろめていこうという活動も、林道ツーリングに負けず劣らず活発です。

体力づくりのアダルトに好評の 早朝トライアル教室

中でもユニークなのはYSPあざみ野・ムサシ(横浜市緑区)さんが開催している早朝トライアル教室。さっそく開催の動機を松井正雄社長に語っていただきますよ。

クなことはシーズンオフがないこと。群馬ですから当然冬は雪で走りにくくなってしまふのですが、クラブのみなさんはほとんどが同時にTY250スコティッシュなどトライアル車も所有。少しの雪なら、このトライアル車で走りを楽しんでしまおうというわけです。

「こうしてオフシーズンなしで楽しめるのが林道のいいところですよ。お客さまにしても、店にしてもね。いまうちでは、「スーパーロック」林道ツーリングクラブの会長の田中勇さんが中心になってうちの店の「特選オフロードマップ」を企画しているんです。

約20の林道を初級、中級、上級に分けて、情報としては路面状況から自動販売機の場合なんかも盛り込もうと思っています。そしてこれをクラブ員だけでなく林道ファンやオフロードバイクユーザー、オフの見込客などにも無料配布して、販売に役立てたいと考えています」と須田社長。

クラブのみなさんも、9月にはオフライでもう一回テクニクを磨くんだ。と大ハリキリでした。

「昨年TY250R発売と同時にうちでも10人のお客さまに売ったんです。ほとんどの人が競技会には関係なくね。そこで折角あんな素晴らしいマシンに乗っていただくのに、



←「時にはこのスコップでコースづくりも……」と石井社長

↓ジャンボさんの店内には全出場者をもう羅したジャンボ・ランキング表も

84年 ナベタモトクロスシリーズ 全記 発表会 (大会情報代表)

順位	名前	所属	タイム
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

↓常時50台以上が参加するナベタモトクロスシリーズ戦



お客様の走りに、つついアドバイスが飛ぶ原田社長(左)も大のトライアルファン

「時にはこのスコップでコースづくりも……」と石井社長

↓ジャンボさんの店内には全出場者をもう羅したジャンボ・ランキング表も

↓常時50台以上が参加するナベタモトクロスシリーズ戦

「コースづくりには土木関係の仕事をして
いるクラブ員が大活躍したんですが、コース
の整地はクラブ員全員でやっています。ブル
ドーザーの手配がつかない日は全員でスコッ
プを持ってね」

と石井社長が語るナベタモトクロスコース
で行なわれるシリーズ戦は、84年全11戦とい
う立派なもの。地域のミニコミ紙「月刊バイ
ク情報」などを通じて動員を図り、常時50台

「あまり商売と関連づけて考えてはいない
んですけど、でもスポーツバイクを売る者として
は当然やっていかなければならないこと
でしょうね。いろいろな意味で。モトクロス
のようなハードな若者教育なんて他にはあり
ませんしね……。ともかく今年は全11戦にの
べ600人ぐらいの方が参加されたことにな
るでしょう。でもこれからは、うち1店のイ
ベントというのではなく、地域のイベントと
して、定着させたいですね」

「コースづくりには土木関係の仕事をして
いるクラブ員が大活躍したんですが、コース
の整地はクラブ員全員でやっています。ブル
ドーザーの手配がつかない日は全員でスコッ
プを持ってね」

と石井社長が語るナベタモトクロスコース
で行なわれるシリーズ戦は、84年全11戦とい
う立派なもの。地域のミニコミ紙「月刊バイ
ク情報」などを通じて動員を図り、常時50台

「うちでも昨年の夏頃からトライアル車が
よく売れたんです。コンベモデルのTY25
0Rね。でもみんなトライアルごっこをやる
ばかりなんだよね。せつかく高いお金を出
して買ったいいバイクなんだから、その性能
の何分の1かでも引き出せなきゃ宝の持ちぐさ
れだからね。そう思って店の裏の130坪の
空地をトライアル練習場にしたんだ。大型ダ

「なかなか技術も身につけませんからね。
ならば一層のこと教室にして、基礎からひと
つひとつ身につけていってもらった方がいい」
さらにYSPあざみ野さんでは、年に3回
バーベキューパーティを兼ねたトライアル大
会を開いたり、トライアルマシンによる富士
登山を実施したり、とトライアルの遊びの世
界を広げて、お客様の好評を集めています。

お店裏のトライアル練習場で バイクと遊びのセット販売

同じようにトライアルを中心とした遊びの
提供でも、原田サイクル(埼玉県越谷市)
さんの場合は、お店の裏の空地を利用して造
った自店練習場を開放して、「バイクと遊び」
のセット販売を強調しているのが特徴です。
「うちでも昨年の夏頃からトライアル車が
よく売れたんです。コンベモデルのTY25
0Rね。でもみんなトライアルごっこをやる
ばかりなんだよね。せつかく高いお金を出
して買ったいいバイクなんだから、その性能
の何分の1かでも引き出せなきゃ宝の持ちぐさ
れだからね。そう思って店の裏の130坪の
空地をトライアル練習場にしたんだ。大型ダ

「なかなか技術も身につけませんからね。
ならば一層のこと教室にして、基礎からひと
つひとつ身につけていってもらった方がいい」
さらにYSPあざみ野さんでは、年に3回
バーベキューパーティを兼ねたトライアル大
会を開いたり、トライアルマシンによる富士
登山を実施したり、とトライアルの遊びの世
界を広げて、お客様の好評を集めています。



最近、販売店さんやヤマハマンから本誌編集部に寄せられる「ユニークなお客さま」の話題がめっきりと増えています。

きっと、ヤマハの'84年モデルが、幅広い人たちの関

友人気分で気軽に乗れるSRX250で、始めました明日香の新しい趣味生活

心を集め、お客さまを増やしていることの証でしょう。そんな中から、SRX250に乗る女性シンガーソングライター明日香さんと、XV750ピラーゴの65才の大ベテラン山田保郎さんをご紹介します。

'82年の10月、東京・武道館で開かれた第13回世界歌謡祭に出演、自作曲「花ぬすびと」でみごとグランプリを受賞した明日香さん。

いまでは、名古屋音楽大学に通うかたわらプロシンガーとしてコンサートツアーに、ラジオのDJ（FM愛知・水曜午後5時30分）にと多忙な毎日を送っています。そんな彼女

が、この8月から始めた新しい趣味生活、それが、SRX250なのです。

——どんなキツカケでバイクに乗るようになったんですか？

「ファーストアルバムの『おてんばさん』を作った時に、宣伝用に文庫本を作ったんです。

明日香文庫、明日香・見聞録I「おてんばさん」っていう本なんですけど、その中で私がいろいろ個人的な暮しをしていらつしやる女性の方にインタビューしたんです。そのお一人に、女性ライダーの三好礼子さんがいたの。

お話してみると、射手座でB型なんでもう星座も血液型もまったく同じで、すぐに意気投合。とくに三好さんの日本一周ソロツーリングのお話などは、

旅が大好きで、旅芸人のようにいろんな所で歌ってみたいと思っていました。すばらしいお話だったんです。

これがバイクを意識した最初。その後、去年自転車旅をしたんですけど、ゆるやかな坂を2時間も自転車こいでいたら、もうキツ

くって、来年はバイクだノって決めたんです。お忙しい明日香さん、免許を取るのも容易ではなかったでしょう。

自分の若さを信じて通ったんですけど、1カ月もかかってしまいました(笑)。1本橋なんか最初に見たときは、あんな所渡るなんてサ



SRX250のライトなフィーリングがお気に入り

「カスみたい、と思いましたね。この教習所通いはマネージャーには内緒だったんですよ。免許を取って、次はバイク選び、SRX250にしたのはなぜ？」

気軽に乗りたい、友人気分で乗れるようなバイクが欲しかったの。そんな時、SRXの「ライトスポーツ」という言葉が、すごく気に入ったんです。

最近、やたらにメカっぽいバイクが多くて女の子には付合はずらくなってますよね。でもSRXは、デザインも素敵だし、とにかくシンプルなのがいい。これからは、もつとSRXのことをよく知って、今日は元気？、なんて声をかけあうような感じで乗れるようになったらいいですね。

SRX250に乗り始めてまだ2カ月ですけど、何か新しい発見ありましたか？

バイクばかりでなくオーディオやビデオなどもと、山田さんの趣味は多彩



「26年前、最初のヤマハバイクはなんでしたか？」
 「125ccのYA3です。私はちょうど第1次の南極観測隊に参加することになりまして、未体験の厳しい寒さにも耐えられる体にしておこうと思ひまして、冬の間オートバイ通勤を始めました。YA3で。」

体力づくりで始めて26年、ヤマハ二筋乗りついで27台目はXV750ビラーゴ

ええ、バイクに乗る人って仲間意識がとってもあるでしょう。あれ好きですね。バイクに乗ってる同志ってことですぐ親しくなれる。

この前も、入ったレストランのウェイトレスがウデだけ陽焼けしていて顔は白いの。バイクに乗ってるでしょ？」って言ったたら、正

解。すぐ打ちとけてしまいましたけど、こんな出会いがとっても楽しいんです。夢はバイク仲間と世界を走ることに目を

輝やかせる明日香さん。バイクをテーマにした素敵な歌が聞ける日も、近いかも知れませんか。

明日香さんとSRX250のういういしい姿とは好対照にXV750ビラーゴを堂々と操る山田保郎(埼玉県上福岡市)さんは、御年65歳の大ベテラン。そればかりではありません。この8月同市の南商会(南次郎社長)さんから納車されたばかりのこのビラーゴは、26年間、27台目のヤマハバイクという根っからのヤマハ党。最近ではトレーシーとビラーゴを乗り分けて、忙しいバイクライフをエンジョイされています。

「実際の乗り始めると、寒さに強くなることよりも自由に行動できる、時間に制約されることが少ないといったメリットの方がずっと気に入ってしまいました。結局、南極には第3次まで続けて行きましたが、白い大陸に親しめば親しむほど日本に帰ってきてから狭い地下鉄通勤などできなくなってしまう。そしてまたオートバイが好きになって、今まで26年間続いているというわけです。」

「26年間、27台ヤマハ一筋という理由は？好きなんです、ヤマハが。丸味のあるシャレたデザイン、やわらかくて、優しい雰囲気のあるオートバイ……それが私の持つてるヤマハらしさです。それとやはり、2サイクルのヤマハですね。」

「27台のうち特に印象に残っているのはどんなモデルですか？」
 「一番印象深いのはYA5ですね、何といても速いし実用的。そしてDTシリーズ。これは本当に私たちに新しい世界を教えてくださいました。R1も忘れられません、ヤマハとしては初めての350ccでしたし、このバイクは息子たちも一緒に乗った初めてのバイクでしたから……。」

「さて27台目のXV750ビラーゴですが、これを選ばれた理由は？」
 「最初に写真を見た時は金やクロムのメッキがいっぱいで、えらくゴージャスなオートバイが出て来たなと思つたんですが、南商会さんの店頭で実際に見てみると、そんなことよりシートが低くてとっても乗りやすい、足も簡単に着きますしね、エンジンも静かで、すぐこれに決めてしまいました。」

「吉田さんは、実際どんな風にオートバイを楽しまれているのですか？」
 「数年前は2人の息子たちと一緒に長距離ツーリングに出かけていましたけど、最近はずばら早朝と夕方に50キロぐらい散歩気分分で走らせています。」

「ビラーゴに変わってから散歩気分も変わりましたか？」
 「ええ、8月に届いてまだひと月ですけど、もう1300キロも走りました。26年間、ひと月でこんなに走ったバイクはありません。それだけ気軽に乗れるということなんでしょう。足が着きやすいから信号待ちも苦にならない。ビラーゴは、1日1日、最近の暮しのエッセンス。時には朝陽を見に出かけたりしています……。」

「27台目のXV750ビラーゴですが、これを選ばれた理由は？」
 「最初に写真を見た時は金やクロムのメッキがいっぱいで、えらくゴージャスなオートバイが出て来たなと思つたんですが、南商会さんの店頭で実際に見てみると、そんなことよりシートが低くてとっても乗りやすい、足も簡単に着きますしね、エンジンも静かで、すぐこれに決めてしまいました。」



「主人のバイクの趣味にも大変理解のある奥さま智子さんに見送られて、今朝もジョギングならぬちよい乗りツーリングに出かける山田さんとXV750ビラーゴ」

スクーターもライダーも耐久性バツグン! リタイヤ・ゼロ、オールナイトでフィーバーした 6時間耐久スクーターレース



PM10: 夜のとばりにつまれたルスツ高原。各チームぞくぞくとトランスポーターからマシンを降ろし、応援団も交えてにぎやかな作戦会議の開始。

PM11: 出場者全員によるライダーズミーティング。みんな目をランランと輝やかかせて、オフィシャルの注意に耳を傾けている。夜を徹してのレースとあってパドックの一角にはトン汁コーナーもオープン。

AM00: いざスタートノルマン式スタートで40人のライダーが一勢にスクーターに駆け寄る。



AM03: 周回数チェックのためにライダーがオフィシャルにゼッケンNoを告げる大声が闇の中にすい込まれていく。ライダー交代は何回でもOKとあってピットは終始大にぎわい。

AM04: あたりが薄っすらとしらみ始める。4時を過ぎても元一杯なのは走ってる人だけ。オフィシャルもピットもいささかバテ気味だが、スクーターのペースはスタートした時から一向に落ちない。

AM02: ジョグやチャンプが、きれいにコーナーをクリアしながら快脚に周回を重ねていく。この頃になると、あちこちで転倒車も……でもケガはほとんどなし。すぐにマシンを起し元気に再スタートしていくのも、スクーターレースならでは。

AM06: やったぞ、6時間ノルマン式が振りおろされて、函館からやってきたパッソルIIをトップにぞくぞくとゴール。それにしてもリタイヤゼロというのは、スクーターもライダーも立派なものデス。



「イヤー、6時間は長かった。ボクたち3人組、優勝するなんて思ってもみなかったね。もちろん、このレースに備えて函館でミッチリ練習はしましたが、パッソルIIで優勝の術函館マジチームのみなさん



「イヤー、6時間は長かった。ボクたち3人組、優勝するなんて思ってもみなかったね。もちろん、このレースに備えて函館でミッチリ練習はしましたが、パッソルIIで優勝の術函館マジチームのみなさん」

大駐車場にタイヤを並べてレイアウトしたコース全長七百メートルに、4馬力以下のクラスと5・5馬力クラスの2クラスに分かれての6時間に渡るデッドヒートの結果は、転倒こそあったもののリタイヤなしというふうなもの。スクーターもライダーも、その「耐久性」をリッパに実証したので。

夏のレースは「耐久」。なんとなく、そんなイメージが定着しつつあるようですね。でも耐久はなにも「スズカ8時間」だけではありません。この夏、特にお客さまの人気を集めたのがスクーター耐久レースやオフロード耐久レースなど、誰もが自分の愛車で手軽に楽しめるもの。

ここに紹介するのもそんなひとつ、8月25日の夜半から26日の早朝にかけて行なわれた「オールナイト6時間耐久レース」の模様です。

84サマーフェスティバルの最後を飾って開かれた「ヤマハ・フェスティバル・イン・北海道」のスクーター6時間耐久レースも、じつはこのフェスティバルのプログラムのひとつとして企画されたのですが、いざフタを開けてみると、当初予定した15チーム（1チームの人数は自由）の定員を大きく上回る40チームがエントリー。改造なしのスクーターによるレースという興味も加わって、このフェスティバルの人気を完全に独占してしまいました。

RSC



クラブ通信

10

機オートテクニカルセンター／西村英喜店長
(名古屋市名東区猪子石菅廻間21～14)



お店の伝言板には、全日本ロードレースのリザルトやスワップミートの告知も

クラブ員のリーダーシップが おもしろ企画を成功させてくれる

18才から45才までのメンバーが20名

夏は誰でもバイクに乗る。でも冬場は誰かがまとめてあげないと、なかなかお客さまは乗らないでしょう。というわけで、うちのクラブが発足して早や1年。

マンガで「ケンタウロス」っていうのがありますが、あれをもっと明るくした感じがうちのクラブです。クラブ員の誕生日には、パーティーなども開きますが、その盛況ぶりはどう大変。ケーキが空を飛んだり……。

まあ、自由気ままにやろうっていうのがクラブの考え方なんです。クラブ員もいま20名。18歳から45歳までの方が、お揃いのツーリングジャンパーをコスチュームとして月例ツーリングを中心に楽しんでいます。日帰り400km——結構走る方でしょう。

企画ごとに世話役を選出して運営します

自由気ままにといっても20名のクラブ員をひとつにまとめるのは正直いって大変。で、私は色んな企画を発案する側にまわり、実際の活動や運営の場面では、企画ごとにクラブ員の中から世話役を選んでもらって、そのクラブ員に動いてもらっています。私は準備係にとどまっているわけです。

でも、動いてくれるのは、いつも決まった人。また、いつもクラブの活動についてくる

夏は琵琶湖へキャンプに、冬も雪の琵琶湖へオフロードランを楽しみに行くRSCのみなさん



だけというのも決まった人なんです。それはそれでいいと思うんですが、大事なのはクラブ員全員に同じ権限を与えておくこと。今回やっと創刊することができたA4サイズ12ページの会報にも、みんなに好きなことを書いてもらっているんです。

プラス・アルファのツーリングも企画

それで普通のツーリングだけじゃあなくて、キャンプツーリングやスノーモビルツアー



夕方ともなれば、店内はいつもクラブ員でいっぱい(中央が西村店長)

ていうのもクラブの行事になる。もともと私は、サーフィンを5年やってたマリン大好き人間。で、ツーリングに色んなマリンスポーツをミックスさせた企画もやっています。琵琶湖までツーリングに行つて、現地でジェットスキーやウェットバイクを楽しんだり海へキャンプに行つたり。冬は冬で、ツーリングに行つたその翌週に同じメンバーでまたスキーに行く。ゲレンデでは、リフトの営業が終つてからスノーモビルや3輪で遊んだり、っていう具合です。

2年目の抱負? 会報を定期発行すること、それとMFJにクラブ登録すること、ですね。

こんにちは奥さま ヤマハ

社長さんが語るうちの女房



♥城所入三江さん

「6月3日に店舗を新装オープンしたばかりなんですけど、それ以来見ちがえるようにハツスルしてくれています。私の手足となつて外回りもしてくれますし。結構キツイことも言えるし、女房ってイイもんですね」

●城所輪業（東京都稲城市）城所秀光社長



多摩

今月はスポーツの秋まっさかりの東京・多摩地区から、元気いっぱいヤマハ奥さまの登場です。スポーツの秋、食欲の秋、ご商売の秋……あなたの秋は、どんな秋ですか？



♥青島清子さん

「店を始めて22年、女房がいて、ヤマハが並んで、なんかみんな当り前みたい。空気や水みたいに考えてたけど、無ければ大変、決して当り前のものじゃないんだよね。素晴らしいもんだよ女房って」

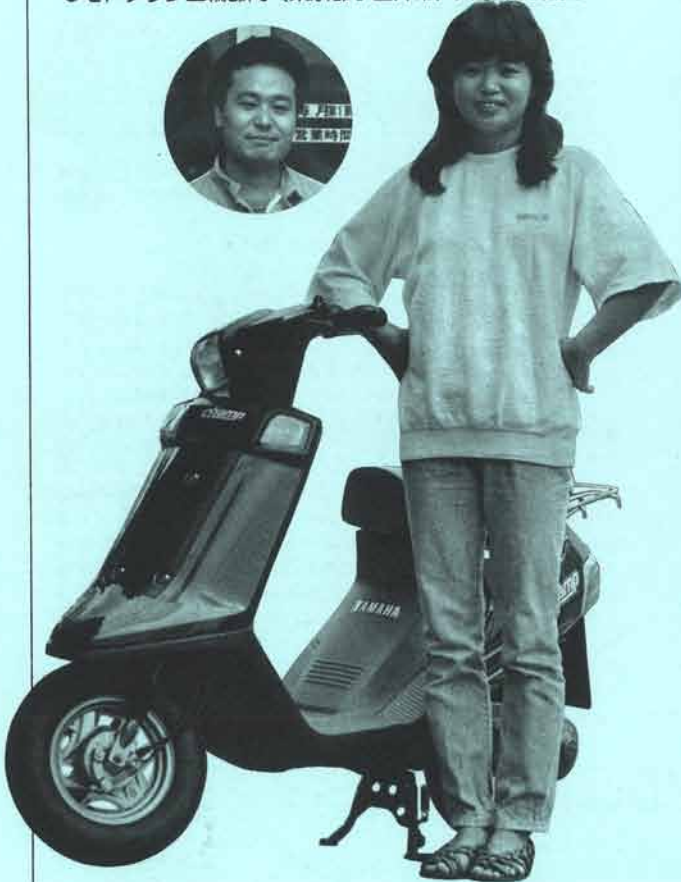
●青島オート（東京都府中市）青島仁社長



♥川原正枝さん

「細かいことによく **気が付く** 女房。従業員に対しても私なんか全く気が付かないようなことまでアレコレ気づかっている。その気づきで次は女性ユーザーをまとめてツーリングなんか計画して欲しいね」

●モトプラン二輪部門（東京都小金井市）川原末男社長



♥浅野麗子さん

「うちの女房はたいしたもんですよ。全販売台数の **9割** は、女房が売ってる。お客さんの好みや要望を全部聞き出して、最適なバイクを勧めてるんですけどこれが実にうまい。やっぱり30年のキャリアだね」

●浅野モータース（東京都府中市）浅野一男社長



♥古田民子さん

「うちのカミさんは **OA女房**。パソコンなんか扱わせればピカ一。毎月の売り上げや荒利なんかハッパツと出してくれるんで大助かりです。DM発送なんかにも、いつの間にかパソコン使っているんだよね」

●YSD三鷹（東京都三鷹市）古田哲郎社長



♥鈴木良子さん

「自分で **経営** してるんだって、そんな意識でやってくれているからいいんじゃないかな。私のお客さんがいるように、女房のお客さんだっているわけだし。もっといろいろな人と付き合い合いたい欲しいね。クチを聞いてくれるような友人も作ればいいのに」

●榊鈴木輪業（東京都小平市）鈴木昇社長



●太田克彦が人気マガジン編集長に聞く当世若者氣質

Magazine & Magazine

10



「コスモポリタン」

〔発行所〕集英社
〔創刊〕1980年5月に隔月刊でデビュー。翌年5月より月刊となる。毎月20日発行。現在通巻46号。

〔編集部構成〕11名(男5名/女6名)。外部スタッフの常勤ライターは約10名。

〔読者対象〕メインは23-24歳の働いている女性。女子大生は10%、主婦(なんらかの形で仕事を持っている)は15%程度。但し、アメリカ版は29歳前後がピークと、日本版よりやや年齢層が高い。発行部数は30万部。

〔編集方針〕「女性の新しい生き方情報誌」のサブタイトルのとおり、働く女性にとって必要な人生のハウツウを紹介。「自立していこうとする女性に対して応援していく」(川口編集長)。

〔編集内容〕アメリカ版の編集長、ヘレン・ガリー・ブラウン女史の言葉——「女だから

ということで差別されることに甘んじていないで、もっと努力して自分の社会的な立場を確立しなさい。恋も仕事も存分にやりなさい」——に象徴されるとおり、仕事と恋愛ごとの2つをメインテーマに設定。精神的な意味でのハウツウを中心に、エモーショナルな記事を掲載している。

〔編集長プロフィール〕1963年3月1日に集英社に入社。入社と同時に少女週刊誌「マーガレット」の創刊にタッチ。以後、週刊「セブンティーン」、月刊「ノンノ」を経て、現在の「コスモポリタン」編集部へ。編集長には、昨年1月より就任。1939年8月19日生まれ、血液型O型。

●第10回ゲスト

COSMOPOLITAN

編集長 川口俊夫氏

すね。

「ええ、そうです。ですからアメリカ版からソックリ記事を転用できるんです。女性だからという差別なく、恋も仕事も楽しんで生きるというのが、編集長の持論でもあるんです。どうしてもエモーショナルな記事が多くなるのもそのせいです」

アメリカ版の編集長ってどんな方なんですか？

「ヘレン・ガリー・ブラウンという名で、あの『ジョーズ』をプロデュースしたブラウンの奥さんです。

ハイスクールを出て転職を重ね、コピーライターもやったり、そのとき、独身女性とセックス」という記事を「コスモポリタン」に書きました。これ単行本になってますが、そしてコスモポリタンにはいつか編集長になったというユニークな経歴をもっている女性です」

どれくらい、むこうの記事をつかうんですか？

「多いときで4割くらいです。初めのうちは8-9割は海外版の記事でした。ウチは世界各国の版から自由につかえるという有利な契約をしていますから、面白い記事はどんどんいただける」

ぜんぶの雑誌に目を通すんですか？

「アメリカ版、フランス版、ドイツ版など、それぞれ一人のひとにザッと訳してもらって、それを私が目をおしてフルイにかけます。そのあと会議で内容についてつっこむわけです。メンタルな記事がつかえますね」

メンタルな記事とは？

「ひと口でいえば人生のハウツウです。読者が、コスモにはタブーを感じない」というような記事のつくり方をしています。ほかの雑誌でメンタルといいますが、精神訓話になったり、エッセットやマナーについてあつかつたりということになりますね。

ウチはもっと精神の奥まで分けいって、行動基準をもっと自分自身に引きつけています。つまり何をするか選択は自分でできる、自分自身で責任もてばいいというふうですね。ですからセックスにもタブーはないんです。

このあいだ、予定外の妊娠」というテーマ

「女性はバイクとウェアをセットで揃える。プレイとともに雰囲気も大切にどうぞよ」

ぼくは女性誌を編集した経験がないので大きいことはいえないが、10年ほどまえにアメリカの「コスモポリタン」を見て、ウーマンリブ華やかな中で少しもツッパらず、しかもこれだけ女性の心の支えになっている雑誌はないのではないかと感心したおぼえがある。アメリカの雑誌に詳しい知人が「コスモポ

リタン」では仮想読者を、編集部で秘密に想定している」という。それは決して美しくない、独身でオールドミスのおし、なのだそう。真偽のほどはわからないが、誌面を見てなんとなく納得してしまった。きわめてぶつうの女性に向けて、キメ細かにつくられていたからだ。

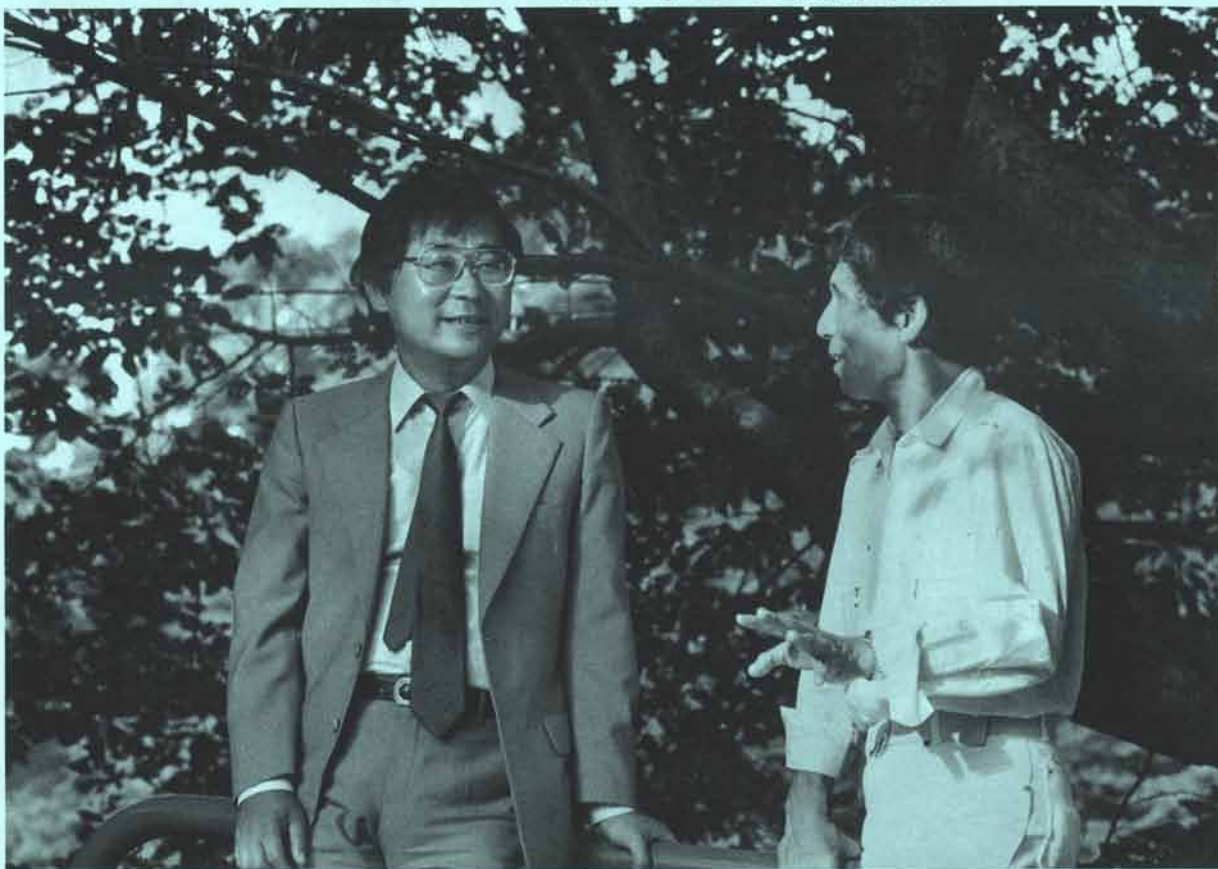
集英社がこの雑誌と提携すると聞いたとき、ぼくは非常に興味をもった。それから6年、女性誌が林立し、しかもファッションやらステイションナリーなど、いわゆるモノ情報が溢れかえっている中で、人間の心の問題、または人間そのものを対象にするという姿勢を崩さないところはずっとぼくは新鮮さを感じてきた。

アメリカ版と日本版とでは読者像は変わらなんでしょうか？
「いえ、日本の読者はピークが23-24歳ですが、アメリカではだいたい29歳くらいの女性

が読者です。生活レベルですとか考え方もなんかずいぶんちがうと思いますよ。けれどもウチの雑誌は、あまり年齢に焦点をあてて考えたくないですよ。そうしないと「モア」

や「リー」など、自社媒体と競合してしまし。むしろ意識ですよ。女性すべてに共通する「恋」と「仕事」をテーマにしています。それはアメリカ版の姿勢にもあるわけ

「いまや『女性だから……』という言葉は禁句」と語る川口編集長(左)と太田氏



をやったんです。相手に妻子があるとかないとかでなく、また、生むとか生まないという悩みのようなナマ臭いものでなくて、中絶という現実で、自分の人生設計が狂ってしまったことだけに焦点をあてた記事です。そこでは、それ以後の自分の生き方について考えるということなのです。まあ、避妊に無神経な男とはつきあうなということなんですけど」

——そういう悩みも、女性が働くという前提がこのところクローズアップされているからでしょうね。
「仕事にたいする悩みは、実は女性のほうが大きいのだと思います。男は選択肢は仕事1本ですが、女性は仕事と男と、2本立ての悩みがあるんです。
女性の仕事の幅が広がったように思われ

ますが、就職について、門の狭さはむかしと変わらないのではないかと思います。なぜなら働きたいという女性もむかしよりふえているからなんです。かつては、イヤになったら故郷に帰つていいという状況があったと思うんですが、いまはないでしょ」

——「とらばーゆ」という雑誌がウケている現象とどこかつながるんでしょうか？
「女性は自分が60歳まで働く図がないんですよ。年功序列にのうのうとアグラがかけない。けつきよくどれだけキャリアがつめるかとか、せいっぱい働けるという場を求めます」
——そのエネルギーが、いま『女の時代』をつくっているのでしょうか？

「日本は学歴社会で男社会だから女性は今ぐまれないんです。だからこそ、『女の時代』が叫ばれるんじゃないですか？ 男にとって男の時代』とさわる必要などは全然ないんですけど、女性の側にも犠牲になっていくという被害妄想はなくなりましたね。」

60年代にアメリカであれだけ吹きまわったウーマン・リブの風も、いまではブラウン編集長の言葉ですがロマンチズムになっていく。2、3年まえまではセックスの道德観もちがって、どんどんタブーを冒していくカジユアル・セックスが話題になっていたのに、いまは精神的な結びつきのほうを大切にしている傾向があります。

最近では新保守主義の擡頭が気になっています。30歳くらいの年代に多いと思うんですが、自分を大切にすることを第一と考える。だからといって戦争はキライといった、保守と左翼思想とが癒着した状況がありますね」

——アメリカの女性はどのように行動が目的意識的ですか？
「アメリカではもっと行動が目的意識的ですね。それはアメリカがステイタス社会だということもあるからでしょう。転職なんか積極的です。学校を出て仕事をおぼえて3年、4年とたつていく。でも初めの上司はいまも上司であって、なかなか自分を一人まえに見てくれない。そこでスッパリ転職して、いままですにつけた実力をほかの場所で生かしていくというふうなケースは多い。離婚してダンナがいなくなったから、夜は必死で勉強してい

る女性もふえています。

先日読者を10人ばかりつれてニューヨークのツアーに出かけたんです。そこでいわゆるカルチュア・ショックに出会った女性が多いんですよ。アメリカ女性を見てね。つまり大企業の職場の花的な女性とか、21歳の花嫁修業中のお嬢さんたちが、バリバリ働いているギャルたちを見て人生観が変わっちゃうんです。そういうところがわれわれの雑誌の存在理由はあるんですけどね」

——定型型の女性もだんだん漂白しはじめる。「だからオートバイに乗る女性がふえたのかな？」そういえばむかしは旅は電車ですものでした。駅から目的地までバスで何分とか、乗りついで何分というように計算しながら歩いたものです。

——ところがデイスカパー・ジャパンですとか、ベンションがブームになって、旅は単に点を結ぶのではなく、とどまることとか、だれといくといったことが前提になりました。そうなるのとクルマが動くのに便利でしょう。テニスのラケットなども積めるし。

——そしてクルマの花がツーリングという、もつとラディカルな旅のイメージに様が変わってきたんですね。いまでは北海道なんか、先にバイクを送って現地受けてるシステムもあるんですよ」

——女性と男性とのバイクの接し方のちがいはどこにあると思いますか？

「男はマシンがいいからとか、スタイリングにシビレたというだけでバイクに乗るでしょ？ ウェアなんかも単発的に選びますよね。しかし女性はバイクとウェアをセットで揃える例が多い。つまりブレイトともに雰囲気大切なんです。これはバイクだけでなく、テニスやゴルフの場合もまったく同じですね」

——今後バイクについての記事を載せる予定はありますか？
「具体的にいつとどこまでかは考えていませんが、やりたいと思っています。でも、コスモポリタンはモノ情報はやらす、メンタルな記事にウエイトをおいてますから、バイクも女性が乗る場合の精神面をあつかってみたいと思っています」

SPINNSHIP UP COFFINBER

●お忙しい販売店さんのための情報アンテナ●
●話題と流行の最新情報●

○今月のセンスアップ

中年からの海外ラリー

みんなやれば恐くない。みんなやればもっと楽しい。それが海外ラリー。ラリーっていうのは再び集まるっていう意味ですけど日本ではまだバイクによるラリーは普及していないですね。長時間走るラリーや耐久レースが好きなのはフランス人。何かといえは耐久、耐久と大騒ぎするけど、フランス人は耐久レースに出るのも好きだけれど、主催するのも大好きなよう。

あの有名なパリ・ダカールラリーは1月1日にパリを出て20日後にアフリカはアルジェの主都ダカールに到着。距離にして1万キロを超えろというすさまじさです。これに似たものとして、やはりフランス人が進行させて今年3回目となったロスマンズ・ファアラオリというのがあります。ロスマンズとは、イギリスのタバコメーカーでスポーツが大好き。ことのほかモータースポーツには理解があるところで、日本でも少しばかり知られてきたイベント。ルールはパリ・ダカールと同じで定められたコースを指定時間内に走ろうというもの。

開催される場所は、エジプト。道なき道や簡易舗装されたコースを1日平均5000km。8日間で4000kmというラリーです。はつきりいいますと、これはもう冒険ですね。それもそれほど極端に難しくはないといったものだから、ますますのテクニクと体力

力でチャレンジできる冒険といえるでしょう。さて、こんなラリーに仲間と一緒にエントリーすることを考えてみませんか。信号ひとつないところを存分に走れますよ。スピード違反という心配もいらないし、何といってもロマンがありますね。遙かかなたには地平線自分のほかは見わたすかぎり何も見えない。この世のすべてが砂の海のむこうに隠れて見えない。あるのは自分の命だけ。

そういう状態にこそ、本当の自分が見つかるチャンスがあるわけです。期間は8日間。長すぎず、短かすぎず。30歳を超えてから、こんなロマンに挑戦することは、あらゆる人を巻き込むこともできるでしょう。ロマンには二オイがあり、そこに誰もが注目するからです。

このロスマンズ・ファアラオリは毎年10月中旬に行なわれます。エントリーについては特別なものは必要ありません。だから、誰でもチャレンジできるイベントです。エントリーフィーはパリ・ダカールよりもグンと安く、50万円前後。あとはマシンの、マシンの運搬、飛行機、カルネの申請、パスポートなどなど、多少の時間はかかりますが、1年に1回こういうラリーで休暇を過ごすというのが新しいやり方です。日本中を走りまわることもわるくはありません。しかし、定められたルールの中で、日

本人以外とウテを競うというのはなかなか新鮮で、しかも勇気が必要。だけどその分やりがいもあるというわけです。

ロマンを求めて、中年からのこんなラリーをおすすめします。もし、みんなやってみようなんてことになったら、各々に作業の一部を分担しあつて、割とラクに渡航手続を済ませてしまつてもいいですね。

ラリーに出るためには、特別なテクニクは必要ありません。アウトドアに関する情報を入れ、サバイバルテクニクを身につければいいのです。バイクのライディングテクニクはその一部として考えていいでしょう。

ラリーに出るためのマシンのセッティング、走り方、用意すべきことは、ツーリング気分では味わえない、やりがいのあることが多く、そして、いろいろな勉強にもなります。ラリーを経験することによって人間として、かなりパワーアップすることも十分に考えられることです。

21世紀に向かって、今、中年の新しいライフスタイルは、「冒険」。海外ラリーはその冒険のためのちょうど狙いやすいターゲットにすぎないのです。日本にもこのようなロマンたっぷりのモーターサイクルによるイベントが欲しいですね。
〔小野寺秀悟〕



BOOKS

●プラグ大研究の本デビュー

エンジンの調子を大きく左右するスパークプラグ。そのプラグについてマルマル一冊にした本が出ました。「スパークプラグの知識と特性」(著者・西尾兼光/中原吉男 嶺山海堂 定価2800円 A5判242ページ)という本です。初心者からハイレベルの人までこれ一冊あれば十分というものです。本書は日本はもちろん、世界でも珍しいスパークプラグの専門書として編さんされたものです。なお、著者はNGKプラグの技術部勤務で20年以上にわたってプラグを研究してきた人です。



●女子大生の本当の姿を知る本

★★★
 なんやかやと世の中は、何かというと女子大生という言葉が軽く使われる傾向にありますね。いろいろと情報がたくさんあるというのに、安易に口にしやういからさういうのでしょうか。まあ、どちらにしても女子大生の本音の部分を知り、青年や壮年のオジサンたちは自分はどうすればよいのかなどと、考えさせられる本がこれです。本の名は「週刊本 女子大生を責めないで」朝日出版社から値段は500円です。



●バイク雑誌もモデルチェンジ

不定期ものを入れると20はあるといわれるバイク専門誌ですが、バイクと同じようにモデルチェンジを見せることがあるんですね。最近のものとしては「ブレイライダー」です。芸文社から出ているこの雑誌は、今回のモデルチェンジで大幅に鮮度が増加しました。表紙もぐんときれいなになっているし、売り上げの方も伸びるのではないのでしょうか。変わったいいのと変わって良くないものがあったいいと思います。バイクと同じようにどんどん洗練されるって、いいことですからね。

GOODS

●女はスカーフ、男はバンダナ

風。さわやかな秋風を全身に浴びてバイクランは楽しいものです。そして見ているもさわやかに見えるものですね。女性なら、そのさわやか感をスカーフで増幅するというのはいかがでしょう。スクーターに乗ってカジュアルに、クラシックにと、どのようにも料理できるのがスカーフです。今年の流行は襟元キユツとやるのがいいそうです。

男。男はバンダナでシブくやりたいもの。ジーンズのポケットから出してワールドに使いこなしたいもの。首、手首、額、ジーンズのおしりのポケットとバイクとのコンビネー



ションにびったりのグッズです。お店に一つ商品として、というのでもいいかもしれません。

LIFE

●今年の新卒就職戦線やいかに

二三年前の傾向としては、やはり3-4年前から同じで理工系が優位になっているということです。好調を維持しているのはコンビユーター関係、光ファイバーなどの先端技術系の企業です。

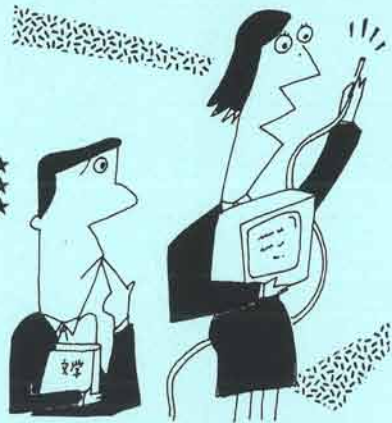
その次に、生化学の分野、食品関係、農薬化学、薬品関係といったところでしょう。文科系は理工系と比較するとそれほど良くはありませんが全体的には安定度が高いという状況にあるそうです。

就職するには、とにかく行動力でたくさん会社を訪問するしかないということです。若者らしい率直、純粋な態度を堅持することが大切だとか。たしかに企業だけでなく、小売店でもフレッシュな感じの人材って欲しいですね。

●4・9と43オクつてなに?

これは以前に朝日新聞と毎日新聞に掲載されていた数字で、4・9とはサラリーマン1年生が歌えるカラオケの持ち歌の数なのだそう。酒量は「酔うがほどほどに」が84%とソツない新入社員が多いのです。

43オクとは、58年度のタバコ販売本数の前年度比較で43オク本減少の意味。割合でいえばたいしたことなく1・4%減で、銘柄とし



てはマイルドセブンが1280オク本売れてシェアの41・9%を占めています。

RIDER

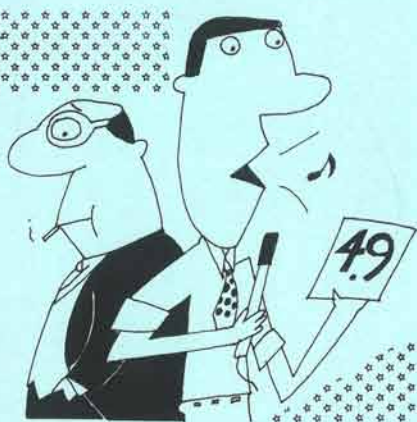
●世界GDPを駆ける福田照男の生活風景

福田照男といえば、ヤマハTZ250で世界GPに挑戦し、ヤマタダマシイを世界中に見せつけている男ですね。彼の生活は日本ではアウトラライフ的なもの。ほら、ヨ



ロッパの選手とちがって、家をもっているわけではないので、キャンピングカーでの生活なのですね。これをみんながコンチネンタルサーカスなんていっています。生活風景はメカニックなどと、食事をつくったり、洗濯をしたり、フトンをはいたり、まったく日常生活そのものなのです。きちんと基礎的なことができないと、レースも速く走れないでしょうから。

京都弁で明るくハナシをする福田照男。日本のバイク雑誌はみんな彼の帰国を待って、どつとインタビューってことになるのでしようが、カンジのいい彼のことから、いろいろなエピソードが聞けることでしょう。今から彼の帰りがたのしみです。



平十YZR500、V2決定！ 平、河崎グランプリもワンツーカー制覇

84全日本選手権ロードレースシリーズのメインレース、第10戦日本グランプリ大会が9月8、9日の両日三重県の鈴鹿サーキットで開催された。

今年21回目を数えるこのGPには、最近のロードレース人気を反映して史上最高の1006台がエントリー。決勝の行なわれた9日は、あい

にくの雨にもかかわらず4万5千人の大観衆が詰めかける盛況ぶりです。

さて、このGPで最大の関心を集めたのはメインレースの国際A級500ccクラスにおける平忠彦十YZR500と木下恵司十NS500の一騎打ち。ポイント差わずか2点で激しく84タイトルを争っている両者

にとつて、このGPは絶対に落とせない一戦。結果によっては、この一戦でタイトルの行方が決定してしまうためです。

さて注目のレースは、先行する木下、片山敬済、R・ロッシユらのNS軍団を平、河崎裕之、上野真一らのYZR500勢が追いつける形でスタート。しかしロッシユ、片山が相

ついでリタイヤ。トップを行く木下も、平の執着のような追い上げに12周目のS字コーナーで転倒、リタイヤ。その後は、平と河崎の2台のYZR500が安定したランデブー走行で17周を走り抜き、みごとワンツーフイニッシュを果しました。

この結果、今季7勝目をあげた平選手は、木下選手に21ポイント差をつけ、10月末の最終戦を待たずに、みごと2年連続の「日本一」を決定しました。

また、国際A級250ccクラスでもTZ250を駆る新井亮一選手（トガシエンジニアリング）が、みごと初優勝を飾っています。

照準はグランプリ！ 光安鉄美、帰国後初レースを優勝で飾る



45,000人の大観衆が見まもる中、安定した走りで今シーズン4度目のワンツーカー勝利を飾った①平と②河崎のYZRコンビ



決勝前のひととき河崎選手のトランスポーターでくつろぐ平(右)河崎両選手

この春から単身アメリカに渡り、モトクロス武者修業にはげんでいた光安鉄美選手が8月に帰国。9月1、2日の両日、山形県の赤沢サーキットで行なわれた全日本選手権第8戦で元氣一杯の姿を披露しました。

国際A級250ccに出場した光安選手（写真）は、アメリカ仕込みのキレのいい走りで、第1ヒートいきなり優勝。第2ヒートこそ3位に終わったもののこの日の話題を独占し、ファンの声援を浴びていました。

シリーズ戦はこの後、9月15、16日、熊本県のセフティパーク熊本で第9戦が開かれましたが、ここでは国際A級125ccクラスで、庄司

覚選手が第1ヒート優勝。最終戦の日本グランプリに向けて、ヤマハチームは一気にペースを上げています。

なお、この第21回モトクロス日本グランプリ大会は、10月13、14の両日、鈴鹿サーキットで行なわれますが、ヤマハからは先にAMAナショナル250ccチャンピオンを獲得したリック・ジョンソン選手の出場も予定されています。どうぞご期待ください。

10月のレーシングカレンダー

- 10月6、7日 ●第12回TBCビッグロードレース スポーランドSUGO
- 10月13、14日 ●全日本モトクロス⑩日本グランプリ 鈴鹿
- 10月27、28日 ●全日本ロードレース⑩ツクバ

一方、A級500ccと並んで注目のF3クラスでは、国際A級でランキングトップを行く江崎正選手とFZR400がポールポジションを獲得。決勝でも3位に入り、デビュー1年目のチャンピオン獲得にあと一步と迫っています。

トータルパワーで スポーツ市場拡大に挑戦！ 『YSPメンバーズクラブ』発足

スポーツユーザーの信頼を集めるYSP店さんは、もっか全国に97店。これら97店さんの連携プレイによって、スポーツバイク市場の健全な拡大発展を推進しようと、かねてから『YSPメンバーズクラブ』結成の準備が進められていましたが、8月29日、静岡県磐田市のヤマハ発動機株式会社議室に全国のYSP店さんが参集して、その発足式と第1回総会が開かれました。

ターサイクル事業部国内営業部長が主旨を説明、森永国彦取締役事業部長が祝辞を述べた後、参加YSP店さんによる会則審議、役員選出などが行なわれ初代会長にはYSP京葉・大月信和社長、また副会長にはYSP浜松・友田和夫社長とYSP甲子園・西上正己社長が選出されました。また、午後からの総会ではヤマハからの政策提案に、熱心な討議が重ねられていました。



↑ひとつひとつの議題に熱のこもった討議をつづけるYSP店のみなさん

結成のメンバーズクラブ



→初代の「YSPメンバーズクラブ」会長に選出され挨拶するYSP京葉・大月信和社長



誰れど、このマシン、
RZV500Rの輸出モデルRD500LCを鮮やかに操つるこのライダーは誰れでしょう？

RZV500Rの輸出モデルRD500LCを鮮やかに操つるこのライダーは誰れでしょう？
 AGVにダイネーゼとキメたケニースタイル、でも路面には緑石もあつてサーキットではなさそうです。
 そう、これは「キング」ケニー・ロバーツその人の走りなのです。84ダッチTTの際に訪れたオランダ・アムステルダムに訪れたオランダVで、入荷したばかりのRD500LCに魅せられて、その場で試乗と相なったのです。
 「市販モデルといっても、GPマシンYZR500のスピリットは少しも損なわれていない。このマシンを「ケニー・レブリカ」と呼んでいる人は、まさに正解。また、こんな素晴らしいマシンに、自分の名前が冠されているのはこのうえない誇りです」と話していました。

●詳しいは描画のヤマトハンドにお問合わせください

SRX250Rスクーターユーザーをスポーツバイクのお客さまに！ 『活用ください』『MY BIKE SRX』

発売以来、予想をはるかにうまわる幅広い人たちの関心を集めているライトスポーツSRX250。それだけに、SRX250の販促活動は、従来のスポーツバイク拡販とひと味違った展開が求められているといえます。例えば、そのターゲットをスクーターユーザーに定めて、原付免許から自動二輪免許へ引き上げるためのアプローチを行なうとか、過去の購入者でぶつり音沙汰なしのお客さまに再び連絡をとってみる、とか。

具体的には、電話やDMを通して来店促進を行なうわけですが、そんなときにぜひともご活用いただきたいのが、ここに紹介するスペシャルブック『MY BIKE SRX』です。A4判変形24ページ、オールカラーのこの小冊子の中には、SRXの造形美を再現したカラーグラフィックをはじめ、SRX人ともいえるユーザーの紹介、さらにSRXの開発プロジェクトリーダーとユーザー代表によるツリーングレポートやSRXと上手につき合うための全情報などを満載。来店者へのノベルティとしてもより、商談時のツールとして幅広く利用できます。

なお、この『MY BIKE SRX』をご希望の方は、担当セールスまでお申込みください。頒布価格は@100円です。



MOTOR SPORT



Y.E.S.S.
YAMAHA EARLY SPORTS SHOP

全国モータースポーツマップが完成！ 準備がすすむイエスの活動！

この秋からスタートしたヤマハの新しいモータースポーツ普及政策「イエス（Y.E.S.S.）」は、おかげさまで出足快調。8月に募集した加盟販売店さまも予定を大きく上まわる900店さん（9月10日現在）を越え、さらに提携施設との契約も順調に進んで、日一日と充実の度を増しています。

現在までに提携した旅行業者は、近畿日本ツーリスト、毎日新聞旅行センター、日本フェリー旅行、国民休暇村協会、日本ベンション協会、プチベンション事業部ヤマハリクリエーション施設の6団体。また加盟販売店さんを通じての活動ツール

も、日本全国のモータースポーツ施設188カ所をすべて網羅した「モータースポーツマップ（写真）」を完成。さらに10月には、各種モータースポーツの楽しみ方から開催運営ノウハウまでを盛り込んだ「モータースポーツマニアル」、11月には先の提携施設一覧や'85シーズンのイベントカレンダー……と着々と製作が進められています。

お店とお客さまとヤマハが一体となって新しいモータースポーツ・レジャーを創造する「イエス」。みなさまのお店でも、ぜひ加盟され、ご商売に積極的に役立ててください。

AD

《世界一速い男》 エディ・ローソンのビデオ完成！

GP挑戦2年目にして、みごと500ccタイトルを獲得したエディ・ローソン。彼とYZR500のチャンピオンまでの足どりを追ったビデオ「ザ・メイキング・オブ・ア・チャンピオン（エディ・ローソン・ストーリー）」が完成しました。

「キング」ケニー・ロバーツの後継ライダーとしてデビューし、ともに闘った'83シーズンから、チームマル

ポロ・ヤマハのエースとして孤軍奮闘、みごとライバルをくぐり王座につくまでの2年間の記録を、デイトナ200マイルなどももりこみながら20分にまとめたものです。

お店のお客さまコーナーにぜひ！本お備えいただくばかりでなく、レースファンのお客さまに、どうぞおすすめてください。

『お店のスポーツユーザーの安全教育に、活用ください。』
『バイク・ワンデー・スクール』



東京、埼玉、群馬、千葉、茨城、静岡、愛知、大阪、兵庫、岡山、山口、福岡、熊本の13都府県を重点地域として9月から開催されている、秋の「バイク・ワンテースクール」のお店のお客さまは、もう参加されましたか？

中型限定解除にチャレンジのお客さまに『自動二輪大型免許・取得実戦ノート』を！

一方、中型限定解除にチャレンジするお客さまのために、ヤマハ安全運転推進本部ではいま話題のブック『自動二輪大型免許・取得実戦ノート』を、販売店のみならずに郵送しております。郵価価格680円(定価800円)

この実戦ノートは、世界で最も難しい免許試験とまでいわれる大型自動二輪免許試験

の向上に大きな役割を果たすものです。実際に受講されたお客さまの評判も高く、事故防止効果も大きいこの「バイク・ワンテースクール」を、ぜひご利用ください。なお受講料は、一般3000円、高校生千円。



もう参加されましたか？ — ヤマハ技術講習会

東京、磐田、神戸のヤマハ研修センターで開催している各種技術講習会、11月の開催日程はつぎのとおりです。どうぞ、ふるってご参加ください。

- 11月度技術講習会のご案内
- 研修センター東京(東京)
- ▼4〜DOHC.....6日(火)〜8日(木)
 - ▼2〜単気筒.....13日(火)〜15日(木)
 - ▼2〜単気筒.....20日(火)〜22日(木)

ヤマハ研修会館(磐田)

- ▼2〜単気筒.....7日(水)〜9日(金)
 - ▼車体(※).....14日(水)〜16日(金)
- 研修センター神戸(神戸)
- ▼2〜単気筒.....7日(水)〜9日(金)
 - ▼4〜DOHC.....14日(水)〜16日(金)

※ヤマハ研修会館(磐田)での車体コースは全国より参加者を募集しております。詳しくは、最寄りのヤマハ特約店および販売会社のサービスマンまでお問合せください。



写真は、9月5〜7日にヤマハ研修会館にて開催された2〜単気筒コースの参加者のみなさん

〈サービスマニュアル〉 新刊のご案内

- ①RZ250/350R、RZ250/350RR、RZ250R(IAR)の合本版
これ一冊あればRZの修理はすべてOK！
●製品No.29L-28197-03 ¥3,800
- ②XVビラーゴ(遺補版)
(注)XV750Aをベースに編集しています。
●製品No.55R-28197-00 ¥2,000
- ③SRX250
●製品No.51Y-28197-00 ¥2,400

お楽しみください！ 秋のSUGOの2大モータースポーツイベント

スポーツの秋たけなわ。'84モータースポーツシーズンもいよいよ残り少なくなってきました。そんな中で、今年もシーズンの最後を飾る、ふたつのビッグイベントが、スポーツランドSUGOを舞台に開催されます。

ひとつは、世界GP500ccクラスの再現として回を重ねるごとに人気を高めている、『TBCビッグロードレース』そしてもうひとつは日本最大のカートレース『ジャパンカートグランプリ』です。

をお誘いして秋の1日、どうぞビッグレースの迫力を満喫してください。

**E・ローソンも登場！
第12回TBCビッグロードレース**

12回を数えるビッグロードレース。今回はロードレース500ccの「世界1」を決めたばかりのエディ・ローソンと今シーズンは「キング」ケニーチームのエースとしてGP250ccを闘った昨年の全米スーパーバイクチャンピオン、ウェイン・レイニーが来日。

2年連続の日本一に輝く平忠彦をはじめ、ベテラン河崎裕之、上野真一らの国内トップライダーと白熱のバトルを展開します。

▼期日/10月7日(日)

▼料金/当日■大人2500円、子供500円
円、前売り■大人2000円

**1000cc以上の初SUGO
'84ジャパンカートグランプリ**

これまでの1000ccから135ccに排気量アップしたマシンで開かれる初めてのグラン

プリ。ヨーロッパからのエントリーも迎えて手に汗にぎるデッドヒートの連続は必至です。

▼期日/10月14日(日)

▼料金/当日■大人800円、子供200円

※詳しくは左記の窓口までお問合せください。

- スポーツランドSUGO/☎02248331111
- SUGO東京営業所/☎03-45660191
- SUGO仙台営業所/☎0222-668401

10月のセールス・ワンポイント

プロモーション研究所 川口政士

秋商戦たけなわ。でも忙しさにばかり追われていないで、そろそろ年末から85年のご商売のプランなども考えたい時期ですね。

いつも新鮮なお店は お客さまも、そらで働く人も、よい気分につくくれる

自分のお店を客観的（文字どおりお客さんが観るようという意味です）に見たことありますか？

毎日の多忙な仕事に追われ、店の中の人としては見ているでしょうが、観ているかどうかというと案外観てはいないものです。大きなスーパーなどのチェーン店では、お店のチェックを専門の仕事にしている人がいますがみなさんのお店にも、同じようなチェックが必要でしょう。もちろん、社長さんがチェック係になって、チェックしていきます。客観的に見てみると、隅の方にゴミ同然のものが山積みになっていたり、ペンキがはげかけていたり、というようなことがずい分目につくものです。

客観的に見る方法として、ここではふたつの方法をあげておきましょう。ひとつは、自分のお店を写真やビデオにとって、眺めてみることです。写真などにとってみると、いつも見馴れた店舗でも、新鮮な目で見ることも

できるため、日頃気づかなかった欠点が改めて発見できるという効果があります。「エッ、こんな店だったかなあー」と改めて気づくことが多いもの。これは、お店全体を鏡に写しているようなものといえるでしょう。

もうひとつの方法は模様変えです。とりあえずは商品の移動から始めましょう。次にポスターやPOP、パネル類などで古いものは全て外してしまい、新しいのに付け変えます。

パチンコ店がよく、新装開店。でお客さまを呼んでいますね。それが、バイク販売店にもそのまま同じように効果があるとは思えません。少なくとも来店客には新鮮に見えることでしょう。春も夏も、1年中同じというのでは魅力は出ません。また、お客さまだけでなく、内部で働く人も新鮮な気持ちで仕事に励むことができるでしょう。

このように時どき模様替えをしていくことによって、どうすれば良いかを考える習慣もでき、おのずとセンスも磨かれていくのです。



初心にかえったスクーター販売のために、

各機種のセールスポイントと対象ユーザーを復習してみませんか？



スクーターのラインアップもだいぶ多くなって来ました。以前に発売されたものなどはうっかりすると忘れてしまいがちです。ましてや、お客さまにとっては、どれがどのスクーターだか、簡単には区別できないのではありませんでしょうか?

こうなるとお客さまには、価格だけ見て最も安いものを買うとする傾向が出てきます。この傾向は、とくにスクーターによく表れているようです。スポーツバイクのお客さんは、自分でどれがよいかを決めて来る事ができますが、スクーター購入者は、一般的にみて、それほど関心も高くなり、その結果、安ければ良い、ということになってしまうのです。

そこで、もう一度それぞれのスクーターの特徴を明確にしてみましょう。新商品として発売された時ともかく、時間が経つと案内特徴・セールスポイントが判からなくなったり、お客さまへの説明も不十分になって

しまっています。セールスポイントというのは、お客さまから見れば、バイキング・ポイント、つまり購入の理由でもあります。この購入理由が不十分となれば、お客さまだつて買えるはずがありません。カタログなどをも一度眺めて、違いを明確にしてみましょう。

これが終わったら次は、どのスクーターは、どんな人に向いているかを改めて考えます。例えば、性別、職業、年齢別、用途別(買物用か、通勤用か、レジャー用かなど)、使用状況(走るの長距離か短距離か、走る頻度は多いか、少ないか、道路状況はどうか)などとお客さまを考え、それぞれにどんなスクーターが最適かを考えます。

各スクーターの特徴が明確になったら、忘れないうちにプライスカードの上にも書いておきましょう。これはもちろん、お店の方が忘れないためというより、お客さまに訴え、よりよい選択をしていただくためです。

フリー客を固定化するための秋の来店促進策を考えてみましょう

代替需要が多くなるにつれて、一度来店されたお客さまに引き続き来ていただくことが大切になります。特に価格が安いからという理由だけで購入されたお客さまは、そのメリットがなくなれば他のお店に流れてしまうので要注意です。

こうしたお客さまには、DMでフォローするのが常道ですが、いくら定期点検の案内などを出しても来てもらえないとなると問題です。DMでだめなら電話によるフォロー、たまにはこちらからの訪問も必要でしょう。こうして根気づよく続けることが大切です。その他にも、集客のためのイベントを開いてみましょう。例えば、定期点検サービスデー、などをつくりDMや電話などでフォローします。この他に簡単なクイズや三角クジなどのクジ引き、ラッキーナンバーによる景品当て(DMの中

に番号をスタンプしておき、店頭で当りナンバーを発表して景品を出すもの)特売市(バイク用品の他に日用品なども加えて特売する)などで来店客への魅力づくりをします。これらの景品や特売品についてはメーカーにも協力を依頼してみましょう。

とくに最近では、特売というオートバイの特売しか考えないお店が多いようですが、バイクライフが広がって来たいまでは、用品の特売会もユーザーには魅力あるものになっているはずです。

また、DM、電話それにチラシなど外に訴える方法だけではなく、店頭をのほりや大型POPなどでニギやかに演出することも大切です。これらの方法は、他の業界ではごく当たり前になっています。お店でも、まずやってみるのが大切でしょう。



引続き来てもらうには

●バイク、スクーターを大量に扱う事業所、官公庁を訪ねて

ガスもバイクも使い方次第 正しい知識で安全を管理

●東京ガス(株)東京南支社・荏原営業所(東京都品川区)

便利・安全・清潔……いまや都市生活者にとって、切り離すことのできない熱源となっている都市ガス。今日はこの都市ガスの安全を守って活躍するメイトを訪ね、東京ガス(株)東京南支社さんの荏原営業所へうかがいました。

免許十社内ライセンスで安全乗車

東京南支社さんでは大田区、品川区、港区の約61万世帯を管轄し、荏原営業所はこの内の品川区全域、18万2千世帯を受け持っています。メイトはこれらの家庭や事業所のガス検針、集金さらに利用者の安全を守る定期保安巡回の足として、欠くことのできない道具となっています。東京ガス(株)さんでは、このメイトの安全運行を図るために徹底した管理が施されていると言います。その詳しい内容を営業事務担当の山口責任者にうかがいました。

「どんなに安全で便利なものでも、使い方ひとつで凶器になる。これはガスも二輪車も同じです。当社でガス器具を扱えるのは、ガスの専門知識を身につけるための1ヵ月間の講習を受けた者だけです。二輪車を運転するのもこれと同じで、免許証の他に、社内ライセンスを必要とします。この社内ライセンスは、座学と実技の1泊2日の講習を終了して、初めて手にすることができるとのことです。

加えて、乗務員と本社の安全運転推進室を結ぶシステムがあります。専任の安全運転管理者で組織される推進室で、その時期や状況に合せた安全活動を企画し、それを各支社にいる専任指導員に伝達。指導員は、営業所の班ごとにいるトレーナーへと伝達し、さらにトレーナーから乗務員の一人ひとりに指示を出す、というも

のです。これにより本社の安全活動を末端まで確実に波及させるとともに、逆のラインを通して末端で発生した問題も推進室へと集まるというものです。

効果絶大の『泥んこコンテスト』

このシステムにより、色んな安全活動が企画され、実行されて来ましたが、現在は、声を出して安全確認をする呼称運動や運行前点検のチェックリスト提出などが実施されて効果をあげています。

中でもユニークな企画は『泥んこコンテスト』。これは春と秋の交通安全運動期間中に行なわれ、一番汚れのひどいバイクの乗務者を表彰するというもので、受賞者の顔色は赤くなったり、青くなったり。賞品がワックスというのもかなりユニークで、一度賞を貰うと次からは必ずバイクはピカピカという効果的なものです。

個人管理で、确实・迅速なサービス

これらのバイクの点検・整備を一手に引き受ける(有)渡辺商会さんの小幡さんは、保守に対する心掛けを次のように語っています。

「実作業に支障のない点検・整備ということで、迅速さと确实を心掛けています。やはり足となるものだけに、時間のことで迷惑はかけられませんが、このための手段としては、大抵の修理や整備ならその場でOKという、メイト用のパーツと工具を積んだサービス車を使って事業所を回ります。

それと同時に、部品交換や修理の記録を刻明にメモして置きます。いつ、どこで、誰れのバイクの、どんな修理をしたかを。この記録

を追っていくと、乗務員さん一人ひとりの運轉のクセが分るんですね。事業所から修理の連絡が入る前に、そろそろあのバイクのブレーキシューは交換時期だな、なんていうのが分るので、事前にパーツを揃えておけるんです。ある意味での個人管理ですね」

まさに会社と乗務員さん、保守店さんが一体となった徹底した安全活動で、年を追うごとに事故を減少させている東京ガス(株)さんです。



タイヤ、チューブ、サイレンサーなど、整備用パーツと工具類がピシッと、しかも整然と積まれた渡辺商会さんの保守用サービス車



安全管理に尽力される責任者の山口さん(左)と営業保全担当・統括主任の小林さん(中)、保守店の渡辺商会さんの小幡さん



朝の出発時にも車庫出口に安全担当者が立って他車の安全確認を実施



本社社屋ビル

保守店さんとの協力で 無事故を目指して万全をつくす

●金沢中央郵便局（石川県金沢市）



正しい運行前点検の講習会にもインストラクターとして協力する保守店さん

人口41万2千人、さすが北陸一の都市を思わせる近代的な街並の中に、加賀百万石の伝統をたどらせる金沢市。今回お訪ねした金沢中央郵便局さんは、この街の中心部、市全体の約40%にあたる5万5千185世帯を管轄区に持つ、日本海側最大の郵便局です。

前は日本海、後には白山連峰が迫まる金沢市は、冬場になると積雪も多く、さらに旧市内は藩祖前田利家が城を守る手段として複雑な道路網をつくったため、幹線道路以外は狭く曲りくねった道や袋小路が多いところです。



↑左から保守店さんの田宮さん、局車両担当の竹内さん、杉本主事さん、もうひとつの保守店さんの松田さん



→新車導入時には「安全運転宣言式」モニーを開き、交通安全意識をあらたにする



全車完全整備を目指して意見交換をする2つの保守店さん

このような環境下での郵便業務だけに、局員の安全に掛ける気配りはひとときわ高いものがあります。特に181両にもおよぶ二輪郵便車については、2店の保守店さんと協力して、万全ともいえる管理体制をつくりあげています。

点検のやり方を保守店さんが伝授

まずは機動車を使って業務にあたる、208名の外務員さんの日頃の安全活動について会計課の杉本主事さんにかがいました。「日頃の活動としては運行前点検の強化日というのを週2回設定して、保守店さん立合いのものに正しい点検と故障箇所を未然に発見することに努めています。」

この運行前点検のやり方については、保守店さんにインストラクターをお願いして、外務職員を対象に、要チェックポイントの正しい見方などを講習会で指導してもらっています。

安全運転の技術や意識面では、集配1課から4課までと、貯金、保険の各課の責任者による危険予知訓練が実施されています。これは郵政局から各局に配布されているテキストをもとにしたものですが、二輪車で走行する際のあらゆる状況が網羅されているので、実際に街中を走り回る乗務者にとっては、かなり効果的な訓練だと思えます。これに安全運転実技講習会といったものが、主な活動となっていますね。

局の施策に2つの保守店さんが協力

そして、これらの活動を支えている保守店さんの活躍について、局内全機動車のまとめ役、

車両担当の会計課・竹内さんが話してくださいました。

「現在、当局的機動車の面倒を見てくれているのは、田宮サイクルさんと松田モータースさんの2つの保守店さんなんです。どちらも保守歴30年以上というベテランですから、局の仕事にも理解があつて、機動車も常にベストの状態にしていだいています。とても頼りになりますね。」

それに保守店さん同志のコンビネーションがとても良いのも大助かりです。別に契約事項に入っている訳ではないのですが、朝の運行前点検時には、必ずどちらかの保守店さんが立ち合ってくれますし、講習会をお願いしても、保守店さん同志がローテーション良く内容をこなしてくれます。

また、安全に対する意見や提言なども遠慮なく出してくれて、とても積極的に保守活動に取り組んでもらっています。」

稼働率100% 整備不良は出しません

これに添えて田宮サイクルの田宮治夫社長と松田モータースさんの2代目、松田弘さんは、保守にあたっての心掛けを話しています。

田宮「なにしろ使い方が加速と停止の繰り返しいった特殊なものなので、ブレーキ調整とエンジン調整に気を使いながら、稼働率100%を目指して整備にあたっています。」

松田「私の場合は無事故です。整備不良による事故は絶対に出さない心づもりで保守をやらせていただいています。」

と、お2人も保守店としての立場をしっかり認識して、機動車の安全運行に尽力されています。

この他にもハンドルクラウン、サイドスタンド、ステップバーなどの消耗やカタつきを見る点検や、他の職場の人に整理状況を診断してもらって、安全のために万全を尽くす金沢中央郵便局さんです。



黒い空間にバイクの楽しさが躍動する お客さまの育成をめざした ハイセンスなショールーム

サイクルプラザタカハシ／高橋貞一社長

茨城県石岡市国府2丁目2-15
02992(2)2317

茨城県石岡市の商店街のド真中にある「サイクルプラザタカハシ」さんは、場所柄がお客さまの顔ぶれもきわめてバラエティに富んでいます。それに加え、昨年9月の新装オープン以来、開放的でシャレたセンスのお店の雰囲気にかかれて、ライダー予備軍の小中学生までが気軽に遊びに訪れるといいます。

●商品が新鮮に見える きれいな店をつくらう

ちょうど1年程前、それまでのお店を全面改装するに当って高橋社長が真っ先に考えたことは、「きれいなお店」をつくることでした。「故障車が店頭に残ったままになっていたり、床にオイルがしみついていたりするような修理場や倉庫みたいな所で商売する時代は終わらねえよ。」

きれいな店、高級感のあるハイセンスな店は敷居が高くて入りにくいとか、高級な店は高いんじゃないか……といった考えはいまやほとんどなくなっていると思います。

同じようにお金を使うのなら、きれいな店、高級な店、ハイセンスな店の方がいいのは当たり前。外食産業のスカイラークなどの普及ぶりを見てつくづくそう感じましたね。そこで、きれいなショールームで、商品を最大限新鮮に、魅力的に見せようと考えたんです。

●黒をベースにメカニカルで 重厚なイメージを

建物のカタチやカラーなど、店舗そのものの印象でお客さまを呼び込もうというのはなく、あくまでも商品や楽しさを主体にした



「お客さまを育てられる店づくりを…」
高橋社長と奥さま・ひろみさん

「オートバイは、メカニカルで重厚なイメージ。それは貴金属などにも通じるんじゃないかと思って、貴金属店を参考に、黒一色のショールームを考えました。」

ところが、まわりのみんなが猛反対。やむなく床だけは白にして壁と天井を黒でまともしてみました。店ができた時は、果してこれで良かったのかなあと、ずい分不安でしたけれど、実際に商品を並べると「メタリックなもの、カラフルなものそれぞれに商品が浮き出さなくていいね」と好評なのでホッとしました。

商品が浮き出るばかりでなく、ポスターなどを貼っても映えるし、いろいろな演出がすこくやりやすいんですよ、この黒一色の壁や天井というのは……」

●バイクを売るだけの 空間ではない！

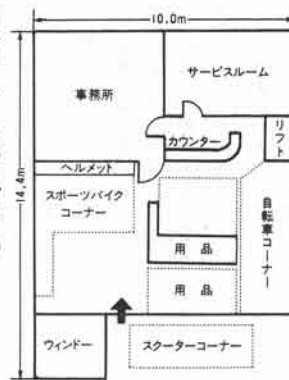
あまりにも小さなイメージチェンジぶりに、始めのうちはお客さまも戸惑い気味だったといいますが、いまでは「ここで買って良かった」と、友達まで連れて来てくれるとか。

「16歳前後のヤングを大切に育てて店の固定客に、というのが商売の面での私の考えです。この年代の人達というのは、どこのお店に行っても、すぐ商売に結びつかないから冷めたくあしらわれている。でも、それじゃダメ。その子たちは一生バイクに乗らなくなってしまうかも知れませんが、中学生こそ大切な見込客なんですから。」

こんな意味も含めて、うちでは喫茶コーナーをつくりました。「バイクを買いに来る人だけの店じゃない。バイクに関心のある人ならどんな人でも集まれる、そして夢をふくらませることが出来る店」にしたかったんです。

●店にも附加価値が求められる

カウンターにイスが5脚、角テーブルに丸イスとベンチのふたつの喫茶コーナーでは、どんなお客さまにもコーヒが無料でサービ



スされ、お客さまはバイクファン同志の会話を楽しんだり、レースビデオや専門誌に見いたり、思い思いの時をすごしています。「これからは、ますます店の附加価値が必要になってくると思います。また来たい」「また話しに行きたい」と思わせる店の演出、雰囲気づくりですね。同時にお客さまを育てている店であれば……」と熱っぽく語る高橋社長。黒一色のシャレた店内は、その言葉をそのままカタチにしたような雰囲気です。

●店「お見せ」

お客さまに商品を見せるか、また見てもいいかに始まり、これに尽きると言えるでしょう。

店舗のデザインやディスプレイは、見せ方の方を第一として、それに機能性や経済性をプラスするわけです。

「サイクルショップ・タカハシ」さんのお店は、この「見せ方」において、大成功していると思います。お店全体の雰囲気、商品をよりお客さまにアピールし、商品の価値感を高め、魅力的にするのに最高の効果を発揮しているからです。

「一般的に見せ方」に成功するには、タカハシさんのように店づくりに際して喫茶店風のきれいな店にする、中学生でも気軽に入れる店にする……といったように、テーマをひとつかふたつ明確に絞り込むことです。それぞれの店にあった、テーマを持たれることをおすすめします。

機デイ・バイ・デイ
ヤマハ店舗相談室 伊藤隆蔵

ショールーム拝見

道路に面したショーウィンドから奥の壁面を使った用品コーナーまで、隅々までアイデアいっぱいに出されたショールームは、約100㎡の広さ



↓
フィッシング・タックルやキャンプ・ギヤとT・Y 250 スコティッシュの組み合わせ。商品の持ち味を120%引き出す、心にくいはかりの演出だ



100円代から10万円代まで、品ぞろえの豊富さも驚くばかりの用品コーナー



←
カウンターとテーブルに分かれた喫茶コーナーでは、小中学生からヤング、アタルトまで、幅広いお客さまのコミュニケーションが広がっていく

YAMAHA BIKE WEAR ニューアイテム登場!

れも秋から冬のライディングを、楽しく、暖かくするものばかり。お店の用品コーナーへの品ぞろえ、どうぞよろしく——

georanna クルージング レザースーツ

マシンとライダーを人間工学的にサイエンスしたカッティングフォルムと機能。肩、背中、膝にはシャーリング加工、一歩先行くライディングスーツに仕立てています。ツーリング愛好派におすすめください。(11月末発売予定)
●素材/1.2mm厚・上質牛皮、(裏)ナイロンメッシュ ●カラー/レッド&ブラック。
¥110,000



ビットブルゾン

モータースポーツのスポーティなイメージを大胆に表現。ファスナーポケットやインサイド2重ポケットをはじめ、ウエスト部のずり上げを防ぐ心憎いウエストラップやビットパス用のD環も装備。袖口、裾口はリブニット、衿裏ニットだから耐風、耐寒にもすぐれています。
●素材/(表)リップストップナイロン、(中綿)ポリエステル、(裏)キルト ●カラー/ルビッド&ホワイト、フレンチブルー&ホワイト。 ¥13,000



ピュアスポーツジャケット

トリコロールカラーも鮮やかなスポーツジャケット。着やすさ、動きやすさはもちろん、ウエスト部のずり上げを防ぐウエストラップやファスナーポケット、インサイド2重ポケットなど、バイク乗りが喜ぶ細かな配慮を施しています。
●素材/(表)420ナイロンOXドリアン加工、(中綿)ポリエステル、(裏)キルト ●カラー/レッド&ホワイト&ネイビー。
¥16,000



(写真は、レーシングスーツ・コンペティションモデルYL312)

レーシングスーツ・コンペティションモデル

アウターパッドに脊椎パッド、膝プラスチックパッドとプロテクト機能を充実。もちろんリズミカルなコーナリングに欠かせないシャーリング加工や、気分爽快のエアースリッドも装備して、ライディングをより楽しく演出します。(11月末発売予定)
●素材/1.2mm厚・上質牛皮、(裏)ナイロンメッシュ ●カラー/YL312=レッド&ホワイト&ブラック、YL313=ホワイト&レッド&ネイビー、YL314=ホワイト&ネイビー&レッド。
¥115,000

レーシングスーツ・セパレートモデル

長時間のツーリングに最適なのが、このセパレート型レザーウェア。コンペティションモデルと同じ充実したプロテクト機能です。(11月末発売予定)
●素材/1.2mm厚・上質牛皮、(裏)ナイロンメッシュ ●カラー/YL315=レッド&ホワイト&ブラック、YL316=ホワイト&レッド&ネイビー、YL317=ホワイト&ネイビー&レッド。
¥118,000



サーキット ジャケット

FZやRZのカラーリングとマッチしたデザイン。ウエストサイドのバイピング、袖ポケットがアクティブ・ライディングをイメージします。
●素材/(表)420ナイロンOXドリアン加工、(中綿)ポリエステル、(裏)キルト ●カラー/レッド&ホワイト&ブラック、レッド&ネイビー&ホワイト。 ¥16,800

オシャレしてツーリングしたい!

ヤマハの秋～冬物ニューバイクウェアの新登場です。本格レーシングスーツからファッショナブルなジャケットまで、ど

*表示価格は、すべて標準小売価格です。なお詳しくは、最寄りのヤマハ特約店およびヤマハ販売会社の部品営業員までお問合せください。

モーターサイクルシーンの新しい感性。
ライディングウェアのニューブランド!
"ジオラマ"シリーズがデビュー!



georama
ツーリングスーツ

georama ブルゾンと同じデザインのツーリングスーツ。ワンピース・タイプのフル装備付き。ロング・クルージング派のライダーに欠かせないアイテムのひとつです。
●素材/(表)420DナイロンOXドリアン加工、(中綿)アルミ蒸着ポリエステルテープ、(裏)キルト●カラー/ジェットブラック&ブラックテープ。 ¥22,000



georamaブルゾン

バイクウェアのイメージを変える洗練されたデザイン。スミ黒地に黒テープのコーディネートーションが、アダルトな雰囲気をかもし出します。素材は耐水透湿コーティングマテリアルを使用。高速券の入る2重裏ポケットも装備。
●素材/(表)420DナイロンOXドリアン加工、(中綿)アルミ蒸着ポリエステルテープ(裏)キルト●カラー/ジェットブラック&ブラックテープ。 ¥20,000



georama メタリックブルゾン

メタリックシルバーの大胆な切りかえしと、レッドのパイプが印象的なライト感覚のツーリングブルゾン。ニットの衿裏、袖口のカフス、2重内ポケットをはじめ、内側のストームガード付フロントファスナーなど、細かい配慮を施しています。
●素材/(表)210DナイロンOX・2000Mウレタンコーティング、(中綿)ポリエステル、(裏)キルト●カラー/メタルシルバー&ブラック。 ¥16,000



georama メタリックスーツ

メタリックシルバーをポイントに、大胆に、しかも若々しくデザインしたツーリングスーツ。寒い冬のライディングに、欠かせないアイテムのひとつです。
●素材/(表)210DナイロンOX・2000Mウレタンコーティング、(中綿)ポリエステル、(裏)キルト●カラー/メタルシルバー&ブラック。 ¥18,000



georama トレーナー

コットン100%の爽やかさに、メカニカルなテープの組合せ。ゆったりと着こなしたいライダーのための、スポーティなトレーナーです。
●素材/綿100%、天竺ウラ毛、ポリエステルテープ●カラー/ルビンレッド、ジェットブラック。 ¥5,600

georama ウィンタグローブ

スーツやジャケットとベストコーディネート。ソフトなレザーと立体裁断でグリップは確実。中綿は保温性にすぐれたシンサレートを使用。(11月末発売予定)
●素材/上質牛皮、(中綿)シンサレート●カラー/レッド&ブラック。 ¥11,000



